

# 第 17 回廃棄物学会研究発表会 参加案内

2006 年 11 月 20 日(月) ~ 11 月 22 日(水)

北九州国際会議場、西日本総合展示場

## も く じ

### 特別企画

第 17 回廃棄物学会研究発表会の開催にあたって	2
特別シンポジウム	2

### 参加申込・会場アクセス・行事紹介

参加申込方法	3
会場へのアクセス・緊急時の対応について	3
行事案内	4
(1) 行事一覧	4
(2) 研究発表会(口頭発表・ポスター発表)	4
(3) 平成 17 年度廃棄物学会賞受賞者記念講演	4
(4) 日韓廃棄物学会協力協定調印式、国際シンポジウムおよび国際ポスターセッション	5
(5) 市民展示	5
(6) 若手の会	5
(7) 懇親会	6
(8) 施設見学会	6
(9) 小集会	7
発表ガイドライン	10

### 研究発表会プログラム、会場案内図

タイムスケジュール	12
セッションプログラム	13
会場案内図	32

## ご 注 意 ~ 例年と異なる点があります。必ずお読みください。

- 参加申込みについて(詳細については、p3 および同封の参加申込方法をご覧ください。)  
今回から、参加申込みをされた方全員に CD-ROM 版論文集を配布します(事前申込み、当日申込みを問いません)。CD-ROM 版論文集がご使用できない方は 9 月 29 日(金)までに学会事務局(TEL: 03-3769-5099)へご相談ください。  
<印刷版論文集をご希望の方> 事前申込みの際に追加注文として受付けます。発表会当日の販売はありません。  
事前申込みの締切りは、9 月 29 日(金)(振込みは 10 月 10 日(火)締切り)です。
- 発表方法について(詳細については、p10、11 の発表ガイドラインを参照してください。)  
p13 からのセッションプログラムに「ポスター-1」または「ポスター-2」と記載されている場合は、ポスター発表です。  
ポスター-1: 1 日目発表、ポスター-2: 2 日目発表で、その他は口頭発表です。  
ポスター発表の場合は、発表ガイドライン(p11)を参照してポスターを作製し、当日持参してください。  
口頭発表の場合は、プロジェクターでの発表が基本となります。ppt ファイルの取扱いについては p10 をご覧ください。  
OHP は基本的に用意しません。OHP の利用を希望される場合は 11 月 6 日(月)までにご連絡ください。(詳細は p10 参照)
- 施設見学会について(詳細は p6 をご覧ください。)  
見学会の申込みは事前申込みを基本とし、定員になり次第、締切りとさせていただきます。  
今年の見学会は A コース、B コースの 2 種類です。  
見学会への参加には、研究発表会への参加が必要です。研究発表会の事前申込みも併せて行ってください。
- 台風や地震などの緊急時の対応は、臨時ホームページ(携帯電話の web 閲覧機能に対応、p3 参照)でお知らせします。

研究発表会についての情報は、ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.jswme.gr.jp/> (廃棄物学会ホームページ)

<http://www.jswme.gr.jp/taikai2006/> (研究発表会専用ページ)

## 第17回廃棄物学会研究発表会開催にあたって

廃棄物学会九州支部支部長

第17回廃棄物学会研究発表会実行委員会委員長

平田 登基男

第17回廃棄物学会研究発表会が平成18年11月20日(月)～11月22日(水)の3日間、「アジアにおける国際資源循環・環境産業拠点都市」を目指す北九州市(主会場は北九州国際会議場)で開催されます。

20世紀初頭に、日本近代産業の幕開けとなったこの地は、4大工業地帯の一つとして日本の高度成長を支えてきた都市でもあります。その一方で、1960年代に深刻な産業公害をも経験しました。しかし、21世紀初頭の今日、この公害を克服する過程で培った技術やノウハウを生かし、「資源循環型経済社会」を構築するために様々な事業に着手しています。

研究発表会は8会場で開催されますが、特別シンポジウムや国際セミナー、ポスターセッション、見学会(北九州エコタウン事業、他)なども予定されており、盛り沢山の企画でいっぱいです。さらに、学会開催期間中、会場近くでは、エコ・テクノ2006、九州・中国科学技術会議、更には3R国際会議開催とこちらも多様な企画が予定され、当該エリアは、環境問題の会議・イベントが目白押しです。

このように北九州で開催される今回の研究発表会は、今までとは違った形の内容も豊富に揃えております。多くの方々が北九州市に来られて「国際資源循環・環境産業拠点都市」北九州市を体感して下さい。

それでは11月、第17回廃棄物学会研究発表会の会場でお会いしましょう。

### 特別シンポジウム

#### テーマ：「環境リスクについて考える ～リスクコミュニケーションの必要性と方策」

我々の生活を取り巻く社会には様々なリスクが存在しており、市民の安全安心に対する関心は広がりを見せている。こうした中、いわゆる「環境リスク」については、化学物質の使用や廃棄物処理施設の立地など様々な事案においてクローズアップされており、特に市民の関心が高いテーマである。また一方では、企業等の事業当事者に対しても、環境リスクを正しく評価し、その低減を図るとともに、適切に情報公開することが求められている。こうした状況から、地域の行政や住民など全ての関係者が正しい情報と判断基準を共有し、環境リスクに対する共通の認識を培い、相互理解を深めていくための方策として、「リスクコミュニケーション」の重要性が認識されている。

しかしながら、多種多様な情報が氾濫する現在、市民は正確な情報を見極め、「ゼロリスクはない」ことを含めて環境リスクを理性的に理解することができているのか。また、事業当事者は、リスクコミュニケーションの意義を真に理解し、実施しているのか。

今回のシンポジウムでは、北九州市在住の科学ジャーナリストである松永和紀氏の講演、並びにリスクの専門家、企業、市民など様々な分野からパネリストを迎えてのディスカッションを通して、環境リスクとは何か、リスクコミュニケーションとは何かについて考える。

日時：11月21日(火) 13:00～15:15

場所：北九州国際会議場 1階 メインホール

内容：(1)基調講演

「リスクコミュニケーションについて考える～私たちの暮らしの現在と未来のために」

松永 和紀(科学ジャーナリスト)

(2)パネルディスカッション

パネリスト

織 朱實(関東学院大学法学部)

池田 善行((株)イマナガ)

諸藤見代子(環の学び工房)

樋口壯太郎(福岡大学大学院工学研究科)

作花 哲朗(北九州市環境局)

コーディネータ

松永 和紀(科学ジャーナリスト)

## 参加申込方法

今回から、参加者全員に CD-ROM 版論文集を配布します（参加費に CD-ROM 版論文集を含みます）。印刷版論文集を希望する方は、追加購入として事前申込みしてください。また、印刷版論文集は事前申込数のみ作成しますので、当日購入はできません。なお、CD-ROM 版論文集がご使用できない方は 9 月 29 日(金)までに学会事務局（TEL：03-3769-5099）へご相談ください。

### (1) 事前申込方法：

この冊子に同封の参加申込方法をお読みの上、申込書を電子メール、FAX または郵送にて送信し、参加費を下記指定銀行口座にお振込下さい。電子メールで申込みされる方は、学会ホームページに掲載の参加申込書(XLS形式)をご利用の上、sanka17th@jswme.gr.jp まで送信してください。入金を確認し、登録完了後、参加証及び講演論文集(CD-ROM版)を郵送いたします。お届けは11月上旬となります。なお、印刷版論文集は当日引換となります。

### (2) 事前申込締切：

**9月29日(金)・・・振込みは10月10日(火)まで**にお願いします。

### (3) 参加費(CD-ROM版論文集を含む)：

正会員並びに公益・賛助会員所属	8,000円
学生会員・登録団体市民会員	4,000円
非会員	12,000円
印刷版論文集の追加購入	5,000円

### (4) 申込先：〒108-0014 東京都港区芝5-1-9 豊前屋ビル5階 廃棄物学会事務局

FAX：03-3769-1492 E-Mail：sanka17th@jswme.gr.jp

### (5) 振込先：

銀行名；みずほ銀行 芝支店(店番号：054)  
口座名；廃棄物学会研究発表会(八ヶ付' ヲガ' ヲカケン' ヲウ' ヲハ' ヲ' ヲカ)  
口座番号；普通 2504706 【振込手数料はご負担願います】

### (6) 当日申込方法：

事前申込ができなかった方は、会場にて当日受付をご利用ください。参加費は事前申込みと同じです。**印刷版論文集の当日購入はできません。**現金払いのみで、後払いは一切承っておりません。なお、参加費は釣銭のないようご用意願います。

## 会場へのアクセス

### JR小倉駅からのアクセス

徒歩(所要時間：約7分)  
小倉駅北口(新幹線口)を出て、ペDESTリアンデッキを通る。  
(図の矢印のとおり)

### 北九州空港からのアクセス

バス(所要時間：約40分)  
エアポートバス(行き先：小倉駅経由・戸畑駅または若松駅行)に乗り、「小倉駅北口」で降車(600円)。  
タクシー(所要時間：約30分)

### 福岡空港からのアクセス

新幹線(所要時間：約40分)  
地下鉄(250円)で「博多駅」まで行き、新幹線(2,050円)に乗り換えて「小倉駅」で下車。  
普通電車の場合、所要時間は約90分となります。  
バス(所要時間：約90分)  
高速バス(行き先：小倉)に乗り、「小倉駅前」で降車(1,000円)。

### 北九州国際会議場

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目9番30号  
TEL:093-541-5931 FAX:093-541-5928 <http://kitakyu-cb.jp>



## 緊急時の問合せ先

地震や台風などの緊急時における学会の開催等の対応については、学会の臨時ホームページ：<http://jswme.gr.jp/info/>でお知らせします。(携帯電話のweb閲覧機能に対応していますが、一部の機種では表示できない可能性があります。)  
その他の場合の連絡先 ~11月17日(金) 廃棄物学会事務局：03-3769-5099(11月18日(土)~11月23日(祝)不在)  
11月20日(月)~22日(水) 大会本部：090-8054-4357

## 行事案内

行 事	日 時	会 場	備 考
特別シンポジウム	11月21日(火)13:00-15:15	北九州国際会議場 1階 メインホール	一般公開企画
廃棄物学会賞 受賞者記念講演	11月20日(月)14:00-14:15	第3会場	
研究発表会	11月20日(月)10:00- 11月21日(火) 9:30- 11月22日(水) 9:30-	P12にてご確認ください	
ポスター発表	ポスター-1: 11月20日(月)12:30-14:00 ポスター-2: 11月21日(火)11:10-12:40	北九州国際会議場 1階 イベントホール	ポスター掲示期間: 11月20日11:00-21日17:00 *11月22日10時まで掲示して 頂いている発表もあります。
見学会	A:11月22日(水)13:15-17:30 B:11月22日(水)13:15-17:30	P6をご覧ください	
日韓廃棄物学会 協力協定調印式 国際シンポジウム	11月21日(火)15:30-17:30	北九州国際会議場 1階 メインホール	国際シンポジウム 使用言語: 英語
国際ポスター セッション	11月21日(火)11:10-12:40	北九州国際会議場 1階 イベントホール	ポスター掲示期間: 11月20日11:00-21日17:00 *11月22日10時まで掲示して 頂いている発表もあります。
小集会	部会によって異なります。p7-p9をご覧ください。		
市民展示	11月20日(月) - 22日(水)	北九州国際会議場 2階「市民展示会場」	一般公開企画
若手の会	11月20日(月)18:30-20:30	第7会場	
懇親会	11月21日(火)18:30-20:30	ステーションホテル小倉 5階 飛翔	

### 研究発表会(口頭発表・ポスター発表)

405件(口頭発表:279編、ポスター発表:126編)

ポスター発表に対して「優秀ポスター賞」の表彰を行います。優秀ポスター賞は二日目懇親会において審査結果の発表・表彰を行うと共に、後日廃棄物学会ニュース等に掲載いたします。

### 平成17年度廃棄物学会賞受賞者記念講演

11月20日(月) 14:00~14:15 第3会場 論文賞 笹尾俊明(岩手大学)

## 日韓廃棄物学会協力協定調印式、国際シンポジウムおよび国際ポスターセッション

### (1) 日韓廃棄物学会協力協定調印式・国際シンポジウム

日時：11月21日(火) 15:30～17:30

場所：北九州国際会議場 1階 メインホール

シンポジウムテーマ「廃棄物学会の交流の意義と今後の展開」

使用言語：英語（通訳はありません）

内容：

日韓廃棄物学会協力協定調印式

開会挨拶

松藤康司（国際委員長）

韓国廃棄物学会の活動と学会連携への期待（仮題）

Oh-Sub Yoon（韓国廃棄物学会会長）

日本廃棄物学会の活動と学会連携への期待

武田信生（廃棄物学会会長）

オープンディスカッション

日韓廃棄物学会会長、Jong-In Dong（韓国国際委員長）、松藤康司（国際委員長）

コーディネータ

杉山涼子（国際委員会）

### (2) 国際ポスターセッション

日時：11月21日(火) 11:10～12:40

場所：北九州国際会議場 1階 イベントホール

36件（英語ポスター発表）

## 市民展示

一般公開企画として、市民団体等による展示を行います。参加費無料で一般の方も参加できます。

期間：11月20日(月)～11月22日(水)

場所：北九州国際会議場 2階「市民展示会場」

## 若手の会

日時：11月20日(月) 18:30～20:30

場所：第7会場

参加希望連絡先：若手の会事務局 朝倉 宏 asakura.hiroshi@nies.go.jp（FAX：029-850-2694）

今年度の活動として「若手の会会員のコラボレーションによる研究のためのネタだし合宿」を予定しており、総会では、この成果を紹介し、フロアとの楽しいディスカッションを通じて、「若手の会としての共同研究の方向性」をつめて行きたいと考えています。

その後の懇親会（同会場）では、さまざまな立場の会員でグループを作って、（お酒の力も借りて）さらにリラックスした雰囲気の中で、「研究のネタだし」、「若手の会の方向性」について話し合しましょう。若手の会では、「社会人・学生会員の交流・ステップアップの場」、「新人自治体職員さん駆け込み寺」などの機能も目指しているため、共同研究はちょっと・・・という方にも有意義な会となると考えております。会費は、社会人会員3,000円、学生会員1,500円程度を予定しています。

このように、本年度の若手の会は、「実際に研究機能を持ち」、「情報を発信できる集団となる」可能性を探るべく、進みだそうとしています。奮ってご参加ください。

敷居が高いと思わないでください！見学参加のみでも大歓迎です！

準備の都合上、参加希望の方は事前に上記までご連絡ください。

詳しい情報は、<http://www.jswe.gr.jp/wakate/> をご覧ください。

## 懇親会

日 時：11月21日(火) 18:30～20:30

場 所：ステーションホテル小倉 5階 飛翔 (p3 参照)

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1丁目1-1 TEL:093-541-7111

参加費：【事前申込】：6,000円 ただし、学生会員・登録市民団体会員は3,000円

【当日申込】：7,000円 ただし、学生会員・登録市民団体会員は4,000円

申込方法：【事前申込】研究発表会の事前申込書にてお申し込み下さい。

【当日申込】2日目(11月21日)午前から受付します。研究発表会参加証を懇親会受付にお出し下さい。

## 施設見学会

### コースのご案内

コース	日 時	内 容	定員	参加費
A	11月22日(水) 13:15～17:30	13:15 北九州国際会議場 海面埋立処分場 北九州エコタウン ～PCB処理施設、複合中核施設、 エコタウンセンター・廃棄物研究施設 17:25 JR小倉駅到着・解散 17:30 北九州国際会議場到着・解散	40名	2,000円
B	11月22日(水) 13:15～17:30	13:15 北九州国際会議場 北九州エコタウン ～家電リサイクル施設、自動車リサイクル施設、 廃木材・廃プラスチックリサイクル施設、 エコタウンセンター 17:25 JR小倉駅到着・解散 17:30 北九州国際会議場到着・解散	40名	2,000円

### 申込方法

同封の見学会申込書にご記入の上、FAX(03-3769-1492)にてお申し込みください。

各コースとも先着順に受付します。申込書到着後、申込状況を確認し、連絡担当者の方にメールまたはFAXにて連絡します。

参加費の入金方法は、上記の連絡の際に記載しますので、それ以前の振込みはご遠慮ください。事前申込みの場合、当日、現金でのお支払いはできません。

### 申込締切

**平成18年9月29日(金)**

### 注意点

- 施設見学会の参加には研究発表会への参加が必要です。研究発表会の事前申込みもあわせて行ってください。
- 参加者の都合によりキャンセルされる場合は、参加費は返却いたしません。
- 事前申込みで定員に満たなかった場合のみ、当日受付を行います。

### 申込み・問合せ先

廃棄物学会事務局

TEL: 03-3769-5099

FAX: 03-3769-1492

## 小集会一覧(1)

日時・会場	題 目	(開催部会名)												
11月20日(月) 14:00-16:00 第8会場	「廃棄物計画(論)へのアプローチ 計画の進行管理を考える： ごみ減量計画見直しの事例を通じて」	(廃棄物計画部会)												
<p>主旨： 廃棄物計画の策定は一般化してきたが、そこでは進捗状況の点検及び計画の定期的な見直しが謳われることも多い。その際、人口やごみ量といった基本的な計画指標の変動を評価するだけでなく、個々の施策の実施状況・効果を把握したうえで計画を見直していくことが重要ではないか。一方、環境マネジメントシステムを取り入れている事業者等では、PDCAサイクルに則った環境報告書(CSR報告書)を発行しており、計画の進行管理及び情報公開という点では先行している。廃棄物計画においても、そのような手法を取り入れつつ計画の進行管理を適切に行うことが課題といえる。今回の小集会では、大阪府豊中市のごみ減量計画について市民参加により見直し作業を行った事例を、関わった豊中市・市民・コンサルタント(計画部会 関西グループメンバー)が紹介し、それをもとに市民参加による廃棄物計画の進行管理の意義とその手法について考える。</p> <p>プログラム：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>代表挨拶：古市 徹(計画部会代表、北海道大学)</li> <li>主旨説明：金子泰純(関西グループ、和歌山大学)</li> <li>事例報告： <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 総論「計画と進行管理 - その経緯と重要性 - 」小泉春洋(関西グループ、地域計画建築研究所)</li> <li>3-2 豊中市の試み <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)「ごみ減量計画の見直しの経緯と試みのねらい」(交渉中)(豊中市環境部廃棄物対策室減量推進課)</li> <li>(2)「進行管理のための評価シートとモニター指標」後藤久美子(関西グループ、地域計画建築研究所)</li> <li>(3)「進行管理に市民はどう関わるか」(交渉中)(豊中市民)</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>討論：(フロアーとのディスカッション)</li> <li>まとめ：金子泰純</li> <li>閉会挨拶：山本 攻(関西グループ、大阪市立環境科学研究所)</li> </ol>														
11月20日(月) 16:15-18:15 第3会場	「バイオマス利活用の最新技術とシステム化(仮題)」	(バイオマス系廃棄物研究部会)												
<p>趣旨： バイオマス部会ではこれまでに、バイオマス系廃棄物処理の現状把握、新技術としてのバイオマスリファイナリー、バイオマスエネルギーの調査研究を小集会のタイトルとして参加者の皆様とバイオマス利用にかかわる問題点の明確化と要素技術の情報を共有してきましたが、本小集会ではバイオマス系廃棄物の総合的利活用を考えるときに欠かすことのできない、要素技術の組み合わせと利活用システムの構築をキーワードとした取り組みについて、報告を行うと共に参加者の皆様との議論を行うことを目的としております。</p> <p>プログラム：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>挨拶 高見澤一裕(岐阜大学)</li> <li>趣旨説明 未定</li> <li>2～3名の演者による講演と討論形式のミニシンポジウム</li> </ol> <p>* 詳細は、研究発表会場にてちらし等でお知らせ致しますことをご容赦ください。</p>														
11月20日(月) 16:15-18:15 第8会場	「有害物質管理と試験評価に関する最新トピックス」	(有害廃棄物研究部会、廃棄物試験・検査法研究部会)												
<p>趣旨：有害廃棄物研究部会および廃棄物試験検査法部会では、有害物質管理とその為の試験評価方法に関して研究を行っています。本小集会では両部会共催企画として、最近、新聞などでも取り上げられているRoHS関連、溶融スラグJIS、アスベストなどのトピックスについて、最新の情報をまとめてご紹介し、一緒に共有できればと考えています。</p> <p>演題および講演者：</p> <table border="0"> <tr> <td>RoHS対象物質の試験方法(IECドラフト)</td> <td>(未定)</td> </tr> <tr> <td>溶融スラグJISの公示と環境安全性評価</td> <td>大迫政浩・肴倉宏史(国立環境研究所)</td> </tr> <tr> <td>フェロシルト事件の経緯と試験法からみた課題</td> <td>宮脇健太郎(明星大学)</td> </tr> <tr> <td>ISOにおける土壌関連試験方法の最新動向</td> <td>坂井宏行(鉄道総合技術研究所)</td> </tr> <tr> <td>アスベスト含有物の処理に係る最新動向</td> <td>(未定)</td> </tr> <tr> <td>廃アスベスト溶融処理物の透過電子顕微鏡によるアスベスト分析</td> <td>(未定)</td> </tr> </table>			RoHS対象物質の試験方法(IECドラフト)	(未定)	溶融スラグJISの公示と環境安全性評価	大迫政浩・肴倉宏史(国立環境研究所)	フェロシルト事件の経緯と試験法からみた課題	宮脇健太郎(明星大学)	ISOにおける土壌関連試験方法の最新動向	坂井宏行(鉄道総合技術研究所)	アスベスト含有物の処理に係る最新動向	(未定)	廃アスベスト溶融処理物の透過電子顕微鏡によるアスベスト分析	(未定)
RoHS対象物質の試験方法(IECドラフト)	(未定)													
溶融スラグJISの公示と環境安全性評価	大迫政浩・肴倉宏史(国立環境研究所)													
フェロシルト事件の経緯と試験法からみた課題	宮脇健太郎(明星大学)													
ISOにおける土壌関連試験方法の最新動向	坂井宏行(鉄道総合技術研究所)													
アスベスト含有物の処理に係る最新動向	(未定)													
廃アスベスト溶融処理物の透過電子顕微鏡によるアスベスト分析	(未定)													

## 小集会一覧(2)

日時・会場	題 目	(開催部会名)
11月20日(月) 18:30-20:30 第5会場	「建設リサイクルの現状と課題 - プラスチックを中心に - 」	(リサイクルシステム・技術研究部会)
<p>趣旨：建設系廃棄物は年間8,000万トン排出され、そのうちコンクリート、木屑の利用は進んでいるが、プラスチックを中心に混合廃棄物の大半が埋め立てしている。塩化ビニールなどプラスチックのリサイクルに焦点を絞り、専門家によるパネル討論会を開催する。</p> <p>プログラム：</p> <p>1 部長挨拶 松藤敏彦(北海道大学)</p> <p>2 趣旨説明 ワーキング活動報告 G1：法改正、行政動向 G2：現状の処理実態の調査 G3：回収・処理システムの技術検討</p> <p>3 パネル討論 コーディネータ 行本正雄(中部大学) パネリスト：塩ビ工業・環境協会、(株)タケエイ、学識経験者(調整中)、部会メンバーの4名 会場との質疑</p>		
11月21日(火) 9:30-11:30 第8会場	「廃棄物の定義・区分への研究アプローチ(仮)」	(行政研究部会)
<p>趣旨：「廃棄物の定義・区分」は、廃棄物・リサイクル行政の要であり、広範な話題が伴う非常に大きなテーマである。本小集会では、合理的な処理、物の性状、処理責任等の評価軸に基づき「廃棄物の定義・区分」について報告を行うと共に参加者の皆様との議論を行うことを目的としております。</p> <p>パネリスト(案)： 国、地方公共団体、民間企業等の研究者(5名程度)</p> <p>* 詳細は、研究発表会場にてちらし等でお知らせ致しますことをご容赦ください。</p>		
11月21日(火) 16:00-18:00 第8会場	「ごみの中の有害物質情報を伝えるしくみと処理のあり方(仮)」	(社会・経済部会、消費者市民研究部会、C&G 共催)
<p>趣旨：一般廃棄物、産業廃棄物のいずれにおいても、適正な廃棄物処理のためには、ごみの中に含まれる有害物質の情報を伝え、その性質を踏まえた処理が必要である。</p> <p>産業廃棄物処理業者は、産業廃棄物の中に含まれる有害物質情報が不十分であるために、不適正処理やさらには事故のリスクを抱えてきた。しかしながら最近、廃棄物データシート(WDS)のガイドラインが作成され、廃棄物中の有害物質の情報が廃棄物とともに適切に流れる仕組みが作られようとしている。</p> <p>一方、家庭用品中にも有害物質が含まれるものは多く、またそのため、自治体のごみ処理ルートに排出することが禁止されているモノもある。しかしながら、こうした情報が消費者に必ずしも伝わっていなかったり、受け皿が整備されていなかったりすることにより、自治体のごみ処理施設に混入するものも少なくない。廃棄禁止品については、販売店の引取りを求めることも多いが、EPR制度として確立しているわけではなく、実質的には十分機能していないとの指摘もある。</p> <p>本企画では、こうしたごみの中の有害物質情報の偏在を踏まえた上で、主に家庭系有害廃棄物について、EPRの適用も含め、適正処理を進めるためのしくみについて議論する。</p> <p>パネリスト：</p> <p>廃棄物データシート(WDS)ガイドライン制定の背景と論点(仮) 未定(調整中)</p> <p>家庭系有害廃棄物の排出実態と自治体の対応(仮) 未定(依頼中)</p> <p>家庭系有害廃棄物と拡大生産者責任(仮) 消費者市民研究部会(調整中)</p> <p>廃棄物に関する情報の偏在問題と対応の可能性(仮) 山川 肇(京都府立大学)</p> <p>コーディネータ：山川 肇</p>		



## 小集会一覧(3)

日時・会場	題 目	(開催部会名)
11月22日(水) 9:30-11:30 第8会場	「九州における清掃今昔物語」	(ごみ文化研究部会)

趣旨：清掃行政は近年大きく変貌しつつあるが、その先進的な試みの中には、ほとんど忘れ去られた歴史に学ぶべきことが少なくない。しかし、汚物掃除法が清掃行政を市に義務づけて以来、既に百年余を経過し、いくつかの都市がその間の歴史をまとめているものの、その数は十分とは言えず、大部分の都市では多くの史実が歴史に埋もれ、忘れ去られつつある。当部会はそのことに危機感を抱き、これまでも関係者に話をお願いし、また資料収集等にも努めてきた。そこで、本小集会では福岡市がその清掃事業史をまとめたのを機に、行政・民間を問わず、福岡市、北九州市などで事業に関わった方々から、その歴史的証言を得て、現在の姿がどのような経緯で生まれ発展してきたかを明らかにし、その上で過去から何を継承し、また学ぶべきかを討論する。

### プログラム：

- 1 挨拶 松藤康司(福岡大学)
- 2 趣旨説明 未定
- 3 パネルディスカッション
  - コーディネータ 秋吉 誠(福岡市)
  - パネリスト (福岡市・北九州市等で行政経験、民間で実務に関わった方々を予定しています。)
  - 会場との質疑

## 発表ガイドライン

### 口頭発表

第17回研究発表会における一般口頭発表は、**原則として液晶プロジェクターでの発表とします。OHPは基本的に用意しません。OHPの利用を希望される方は事務局までご連絡ください。**事前にご連絡をいただいた場合のみ、OHPをご用意します。

#### 1. 基本事項

- 発表者であっても参加申込み、参加費は必要です。
- 講演時間に遅刻した場合は、発表できないことがあります。
- **発表の講演時間は、発表10分、質疑応答5分の計15分です。**時間を超過した場合には、発表の途中で座長に打ち切られることがあります。
- 聴衆者に良く理解されるような発表を行ってください。特に、継続性のある研究を発表される場合には、これまでの発表との違い、今回の発表の特徴を明確にして発表を行ってください。

#### 2. 液晶プロジェクターでの講演について

##### (1) ファイルの作成について

- **ファイル名は、「セッション番号 演者の氏名.ppt」としてください。**  
(例:「A1-1 廃棄物太郎.ppt」)
- 講演ファイルはMicrosoft PowerPoint®で作成し、ファイルの容量は最大でも10MB程度に収まるようお願い致します。
- 液晶プロジェクターに接続されるノートパソコンのオペレーティングシステムはMicrosoft Windows® XPで、使用ソフトはPowerPoint® 2003です。液晶プロジェクターの解像度はXGA(1024×768)です。この仕様に基づいた動作確認を行った上でファイルを会場に持参して下さい。

##### (2) ファイルの受付について

- 講演ファイルは、USBメモリーまたはCDで研究発表会会場に持参して下さい。
- 開催期間中は随時、講演ファイルをお頂かりしますが、遅くとも各発表セッション(例えばA1、C1など)開始15分前までに「講演ファイル受付」にUSB等を持参して下さい。担当者がファイル名等を確認し、インストールを行います。
- 「講演ファイル受付」は、北九州国際会議場と西日本展示場に各1箇所あります。
  - ◇ **第1～4会場での発表は、北九州国際会議場で受け付けます。(会場案内図 p32 参照)**
  - ◇ **第5～8会場での発表は、西日本展示場で受け付けます。(会場案内図 p32 参照)**

##### (3) その他

- 各講演会場に講演ファイルをインストールしたノートパソコンと液晶プロジェクターを用意します。講演者自らがノートパソコンを操作し、講演を行ってください。
- 講演ファイルは大会終了後に実行委員会が責任を持って消去致します。

- 「講演ファイル受付」は、第1～4会場の発表は北九州国際会議場で、第5～8会場の発表は西日本総合展示場で行います。詳細は、会場案内図 p32 を参照してください。
- 初日(11月20日)の午前中は講演ファイル受付が混雑するおそれがありますので、初日午前の発表者は早めの受付をお願いします。
- ファイル名は指定どおりに付けてください。 「セッション番号 演者の氏名.ppt」

#### 3. OHPの利用を希望される方

OHPの利用を希望される場合には事務局までFAXにて連絡をお願いします。連絡をいただいた場合のみOHPを用意いたします。

- 連絡先：廃棄物学会事務局 FAX:03-3769-1492
- 連絡事項：発表するセッション、論文タイトル、発表者名
- 連絡期限：11月6日(月)

## ポスター発表

ポスター発表は、2日に分けて行われます（ポスター1は1日目、ポスター2は2日目）。

また、優れたポスターに対して、優秀ポスター賞を設けています。審査はポスター会場を訪れた方からの投票で行います。2日目の懇親会において、発表および表彰を行いますので、力作を持ってご参加ください。

- 発表者であっても参加申込み、参加費は必要です。
- 継続性のある研究を発表される場合には、これまでの発表との違い、今回の発表の特徴を明確にして発表を行ってください。
- 論文1件あたりのポスター貼り付けスペースは、タテ 120 cm × ヨコ 90 cm (A0サイズ)とします(タテ 120cm × ヨコ 180cm のボードを2件で使用)。ただし、パネルの最上部タテ 10 cm部分には必ず、講演番号、題目、所属、氏名を印刷するか、または記入した用紙を貼ってください。ポスターを貼り付けるパネルの色は、薄い茶色です。(コルクボードです。色の表現が適切でないかもしれませんので、あくまで参考としてください。)
- ポスターの理解度を深めるために、実験サンプルやアルバムを持ち込むことは、かさばらなければ可とします。ただし、ビデオ、パソコン等電源を必要とするものは不可とします。また、商品宣伝の意図を強く出した内容のものも不可とします。
- ポスターの貼付、発表及び撤収時間はそれぞれ以下のとおりです。  
貼付：11月20日(月) 9:30 ~ 11:00  
発表：ポスター1 11月20日(月) 12:30 ~ 14:00 (一般公開 14:00 ~ 16:00)  
ポスター2 11月21日(火) 11:10 ~ 12:40 (一般公開 13:00 ~ 16:00)  
撤収：11月21日(火) 17:00 ~ 22日(水) 11:00  
(できる限り11月22日(水)の10時ごろまでに撤収してください)
- 発表者は、ポスター貼付前にポスター会場の受付に到着した旨を伝え、発表者リボン、貼り付け用ピンを受け取り、注意事項を聞いてください。

- 図面やグラフなどをパネルに直接貼り付けても構いません。パネルへの貼り付けにはピン(会場付近にて配布)を使用してください。

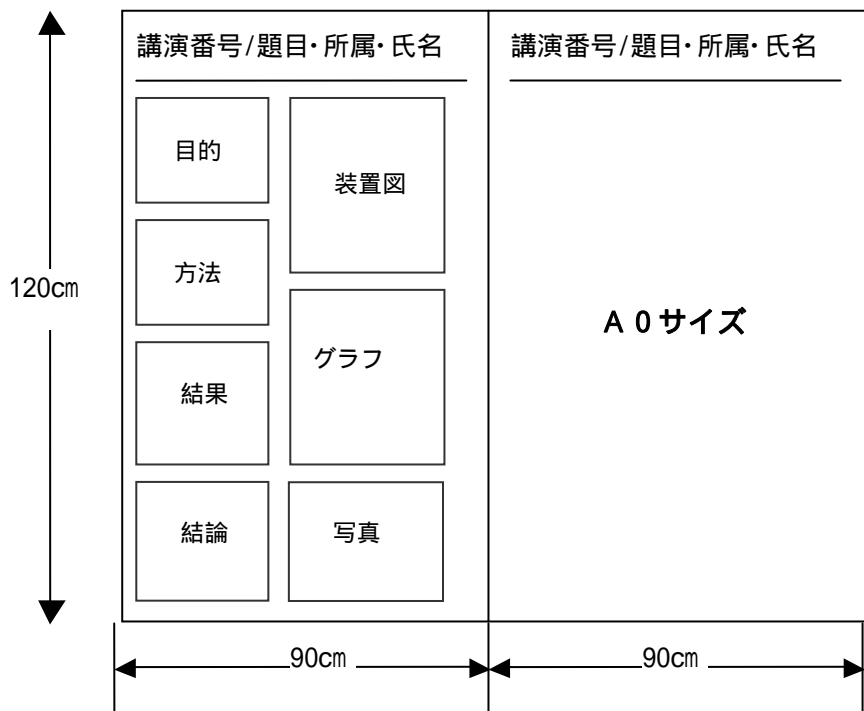
- 発表者は発表時間に、ポスターの前で説明を行って下さい。

- 撤収は必ず発表者の責任でお願いします。撤収時間を過ぎた場合には、会場スタッフがポスターを撤収・廃棄しますが、毎年多大な負担となっています。ご協力ください。

### 撤収期限

11月22日(水) 11:00

厳守してください



【ポスター作成例】

# タイムスケジュール

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	
	北九州国際会議場					西日本総合展示場 新館中展示場			
	メインホール	11会議室 1F	21会議室 2F	国際会議室 2F	32会議室 3F	展示場B 3F	展示場C 3F	会議室FG 3F	会議室J 3F
11月20日(月)	受付 9:00-								
		10:00-12:00 A1 ごみ発生・ごみ性状	10:00-12:00 A7 廃棄物管理・計画(1)	10:00-12:00 B1 汚泥等の処理・資源化	10:00-11:30 B11 その他有機系廃棄物の資源化(1)	10:00-11:15 C5 焼却灰性状	10:00-12:00 D5 埋立地安定化・跡地利用(1)	10:00-12:00 E1 PCB・ダイオキシン処理/バイオレメディエーション	
	12:30-14:00 ポスター発表(プログラム中に「ポスター-1」と表記):北九州国際会議場 1F イベントホール								
				14:00-14:15 平成17年度廃棄物学会賞 受賞者記念講演 論文賞					
		14:30-16:00 A3 住民参加・経済的手法・ライフスタイル(1)		14:15-15:45 B2 生ごみの処理・資源化(1)	14:30-16:00 B12 その他有機系廃棄物の資源化(2)	14:30-15:45 C6 焼却灰安定化	14:00-16:00 D6 埋立地安定化・跡地利用(2)	14:00-16:00 E2 有害性試験	14:00-16:00 小集会 廃棄物計画部会
11月21日(火)	16:15-18:00 A4 住民参加・経済的手法・ライフスタイル(2)	16:15-18:15 A8 廃棄物管理・計画(2)	16:15-18:15 小集会 バイオマス系廃棄物研究部会	16:15-18:00 B7 建設廃棄物・プラスチックの資源化	16:15-17:45 C1 廃棄物熱分解技術(1)	16:15-18:00 D7 埋立地モニタリング		16:15-18:15 小集会 有害廃棄物研究・廃棄物試験・検査法研究部会	
					18:30-20:30 小集会 リサイクルシステム・技術研究部会		18:30-20:30 若手の会		
	9:30-11:00 A5 住民参加・経済的手法・ライフスタイル(3)	9:30-11:00 A9 処理処分施設計画	9:30-10:45 B3 生ごみの処理・資源化(2)	9:30-11:00 B8 焼却灰の資源化(1)	9:30-11:00 C2 廃棄物熱分解技術(2)	9:30-11:00 D2 埋立地浸出水	9:30-11:00 E4 不法投棄・土壌地下水汚染(1)	9:30-11:30 小集会 行政研究部会	
	11:10-12:40 ポスター発表(プログラム中に「ポスター-2」と表記)、国際ポスターセッション:北九州国際会議場 1F イベントホール								
	13:00-15:15 特別シンポジウム:北九州国際会議場 1F メインホール								
11月22日(水)	15:30-17:30 日韓廃棄物学会協力協定調印式、国際シンポジウム	16:00-18:00 A2 物質フロー解析・産業連関分析	16:00-18:00 A10 処理・リサイクルシステム評価	16:15-18:00 B4 メタン発酵(1)	16:15-18:00 B9 焼却灰の資源化(2)	16:15-18:00 C3 排ガス処理	16:00-18:00 D3 埋立地遮水(1)	16:15-17:45 E5 不法投棄・土壌地下水汚染(2)	16:00-18:00 小集会 社会・経済、消費者市民研究部会、C&G
	18:30-20:30 懇親会:ステーションホテル小倉 5F 飛翔								
		9:30-11:30 A6 容器包装・製品系廃棄物リサイクル	9:30-11:00 A11 ライフサイクル思考に基づく評価と応用	9:30-11:00 B5 メタン発酵(2)	9:30-11:00 B10 熔融スラグの資源化	9:30-10:45 C4 ダイオキシン類制御	9:30-11:15 D4 埋立地遮水(2)	9:30-11:30 E3 有害廃棄物処理・廃水処理	9:30-11:30 小集会 ごみ文化研究部会
		11:30-12:45 A12 リスク管理・評価	11:30-13:00 B6 メタン発酵(3)			11:30-12:45 D1 埋立地内の化学物質の溶出と挙動			
施設見学会(13:15-17:30)									

市民展示 : 11月20日(月) - 11月22日(水) 北九州国際会議場 2階「市民展示会場」

施設見学会:【Aコース】11月22日(水)13:15-17:30、【Bコース】11月22日(水)13:15-17:30

## セッションプログラム

(ポスター-1: 1日目発表、ポスター-2: 2日目発表、その他は口頭発表)

### 廃棄物学会賞受賞者記念講演(論文賞) 【11月20日(月) 第3会場 14:00-14:15】

『平成17年度廃棄物学会論文賞』廃棄物広域処理施設の設置計画における住民の選好形成に関する研究  
岩手大学 笹尾俊明 高崎経済大学 柘植隆宏

### A1 ごみ発生・ごみ性状 【11月20日(月) 第1会場 10:00-12:00】

- |        |        |                                       |             |                     |
|--------|--------|---------------------------------------|-------------|---------------------|
|        | A 1-1  | 流通システムとごみ意識構造                         |             | 立田浩之                |
|        | A 1-2  | 海水浴場における散乱ゴミの制御に関する研究                 | 舞鶴工業高等専門学校  | 四蔵茂雄                |
|        | A 1-3  | 海浜漂着人工素材ゴミの調査方法(1)                    | 鳥取大学        | 岡野多門、築田哲也、安東重樹      |
|        | A 1-4  | 一般廃棄物の発生抑制政策とその効果                     | 岡山大学        | 安田憲二、児玉祐子、田中 勝      |
| ポスター-1 | A 1-5  | 自治体による生ごみリサイクルの状況について                 | 富山県立大学      | 天野智順 (株)エスアール 西尾昂太  |
| ポスター-2 | A 1-6  | 散乱ごみの抑制手法に関する一考察                      | 千葉市         | 神崎広史 千葉大学 宮崎 清、植田 憲 |
|        | A 1-7  | 社会経済的要因が都市廃棄物排出原単位に及ぼす影響の統計分析手法に関する考察 | 帝京大学        | 渡辺浩平                |
|        | A 1-8  | ごみの発生・排出原単位とその影響要因に関する検討              | 岡山大学        | 田中 勝、松井康弘、吉澤佐江子     |
|        | A 1-9  | PET ボトルの軸方向圧潰実験                       | 新居浜工業高等専門学校 | 鎌田慶宣、本田拓也、伊藤勝久      |
| ポスター-1 | A 1-10 | 宮崎県で発生する水産廃棄物の発生量推定と資源化方策             | 宮崎大学        | 関戸知雄、土手 裕           |
| ポスター-2 | A 1-11 | 都市ごみ焼却施設搬入ごみの組成調査と将来的な変化の予測           | 大阪市立環境科学研究所 | 酒井 護、西谷隆司、山本 攻      |
|        | A 1-12 | 分別方法の違いによる廃プラスチックの排出実態について            | 東京都         | 高橋昌史、辰市祐久、中浦久雄      |

### A2 物質フロー解析・産業関連分析 【11月21日(火) 第1会場 16:00-18:00】

- |        |        |   |              |                                 |
|--------|--------|---|--------------|---------------------------------|
|        | A 2-1  | E-waste を対象とした日中間のマテリアルフローの把握と合理化に関する研究         | 名古屋大学        | 田畑智博 (株)野村総合研究所 吉川拓未 名古屋大学 井村秀文 |
|        | A 2-2  | WIO-MFA モデルを利用した鉄資源循環分析                         | 東北大学         | 中島謙一 早稲田大学 中村慎一郎 東北大学 横山一代      |
| ポスター-1 | A 2-3  | 中国におけるプラスチックのマテリアルフロー                           | (独)国立環境研究所   | 吉田 綾、寺園 淳                       |
| ポスター-2 | A 2-4  | 産業廃棄物適正処理のための物質収支モデルの作成                         | 丸紅(株)        | 浜田雄平 北海道大学 東條安匡、松尾孝之            |
|        | A 2-5  | 物質ストック勘定(Material Stock Accounts)体系の構築に向けた基礎的検討 | (独)国立環境研究所   | 橋本征二 東京大学 醍醐市朗 東北大学 中島謙一        |
|        | A 2-6  | 自動車用鉛バッテリーの静脈フロー推定                              | 京都大学         | 平井康宏、酒井伸一                       |
|        | A 2-7  | Cdのサブスタンスフロー解析と充電内蔵製品の廃棄行動についてのアンケート調査          | 京都大学         | 宮島 章、浅利美鈴、酒井伸一                  |
| ポスター-1 | A 2-8  | ごみ焼却施設の物質・金属資源収支の推定                             | 山口大学         | 李 博洋、浮田正夫、樋口隆哉                  |
|        | A 2-9  | 循環資源に着目した貿易統計の不整合問題                             | (独)産業技術総合研究所 | 布施正暁 日本工業大学 八木田浩史               |
|        | A 2-10 | 地域間廃棄物産業関連表による東京都の廃棄物排出構造の分析                    | 東京国際大学       | 筑井麻紀子                           |
|        | A 2-11 | 廃棄物産業関連モデルによるトランプエレメントの混入を考慮した鉄鋼材資源循環分析         | 東北大学         | 横山一代、中島謙一 (独)国立環境研究所 南齋規介       |

**A 3 住民参加・経済的手法・ライフスタイル(1) 【 11月20日(月) 第1会場 14:30-16:00 】**

- A 3-1 秩父広域市町村圏における家庭ごみ処理の有料化による減量効果  
立正大学 吉岡 茂
- A 3-2 ごみ有料化と情報提供によるごみの発生抑制に関する研究：舞鶴市の事例  
京都府立大学 西井和浩 京都市 船越進吾 京都府立大学 山川 肇
- A 3-3 消費者行動を考慮したデポジット施策の効果分析  
徳島大学 三好祐介、近藤光男、近藤明子
- A 3-4 廃棄物処理施設のライフサイクルコストの調査・研究  
(独)国立環境研究所 田崎智宏、橋本征二、森口祐一
- A 3-5 戦後のごみ有料化都市数の変遷  
京都府立大学 山川 肇 (株)シオン 矢野潤也
- A 3-6 家庭ごみ有料化に反対する住民の意識  
岩手県立大学 阿部晃士
- ホスター2 A 3-7 住民からみた一般廃棄物行政施策評価  
埼玉県環境科学国際センター 川寄幹生、磯部友護、小野雄策
- ホスター1 A 3-8 大矢知・平津地内産業廃棄物不法投棄の経緯と住民の対応  
四日市大学 粟屋かよ子、高橋正昭、井岡幹博

**A 4 住民参加・経済的手法・ライフスタイル(2) 【 11月20日(月) 第1会場 16:15-18:00 】**

- A 4-1 札幌市ごみ減量化に向けた小単位ごみ収集量把握方法と情報提供方法の検討  
北海道大学 福地晴男、古市 徹、石井一英
- ホスター2 A 4-2 廃棄物処理施設に対する住民意識構造のヒアリング調査に基づく分析  
トステム(株) 藤本有華 北海道大学 松藤敏彦
- A 4-3 ごみ分別制度の特徴が個人のごみ分別行動に与える影響  
岩手県立大学 篠木幹子
- A 4-4 ごみ減量施策における市民参加と環境マネジメントのあり方に関する研究 - 山形県内市町村の状況調査とその考察 -  
東北公益文科大学 成澤 庸、高木武夫
- A 4-5 徳島県上勝町におけるゼロ・ウェイスト宣言の成立過程に関する研究  
福岡大学 市川 新、篠木幹子
- A 4-6 淡路島における海岸漂着ごみモニタリングとその季節変化について(その2) - 市民との協働による成果 -  
(社)瀬戸内海環境保全協会 清水孝則
- A 4-7 循環型地域社会形成に向けた住民の意見集約と合意形成手法の事例研究～添田町粉炭利活用ネットワークづくりのワークショップの取り組み～  
(有)情報工房 山浦晴男 東京農工大学 堀尾正靱、福井 隆
- A 4-8 蛍光管の排出フロー把握及び循環システム構築に向けた行動モデル調査  
京都大学 福井和樹、浅利美鈴、酒井伸一

**A 5 住民参加・経済的手法・ライフスタイル(3) 【 11月21日(火) 第1会場 9:30-11:00 】**

- A 5-1 『ごみ袋減量カレンダー』による減量効果・・・市役所職員の取組実験  
酪農学園大学、環境カウンセラー 中村恵子
- A 5-2 環境政策ツールとしての北九州市民環境パスポート事業  
北九州市 垣迫裕俊、重岡典彰 早稲田大学 永田勝也
- A 5-3 北九州市民環境パスポート事業における環境情報可視化についての研究  
早稲田大学 永井祐二、永田勝也、寺島信義
- A 5-4 北九州市民環境パスポート事業のアンケート調査分析とカーシェアリングの有効性について  
早稲田大学 永田勝也、永井祐二、金子 正
- A 5-5 食に関するライフスタイル変化の環境影響評価：WIO分析の応用  
早稲田大学 板 明果 静岡大学 高瀬浩二 早稲田大学 鷺津明由
- A 5-6 ダンボールコンポスターの環境教育・食育への応用  
鹿児島大学 大前慶和

**A 6 容器包装・製品系廃棄物リサイクル 【 11月22日(水) 第1会場 9:30-11:30 】**

- A 6-1 廃プラ再生油燃料ディーゼル発電設備の長期運転実績と課題  
札幌プラスチックリサイクル(株) 塩谷 操、若井慶治、福島正明
- ホスター1 A 6-2 自治体における容器包装リサイクル費用の測定とEPR導入可能性評価  
関東学院大学 李 松林、安田八十五

	A 6-3	実践的な学童向け環境学習プログラムの開発（お菓子の包装について考える） 早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、 前野良輔
ホスター-2	A 6-4	使用済ペットボトルの輸出構造と課題 (独)国立環境研究所 寺園 淳、吉田 綾、森口祐一
	A 6-5	家電リサイクル施設における有機臭素化合物の排出実態調査 (独)国立環境研究所 滝上英孝 京都大学 平井康宏、酒井伸一
	A 6-6	使用済み携帯電話のユーザーによる処理方法別台数の推定 関西大学 宮部修一、中野加都子、和田安彦
	A 6-7	使用済み電気・電子製品の発生要因の解析 (有)環境資源システム総合研究所 小口正弘 (独)国立環境研究所 田崎智宏、森口祐一
	A 6-8	易解体性の定量評価手法に関する検討（実際のリサイクルプロセスと解体性評価の相関） 早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、 二又裕文
	A 6-9	ウランバトル市における中古車輸入の増加と都市環境問題 東北大学 CHAGTALTULGA DAVAADASH、劉 庭秀
	A 6-10	中国における自動車リサイクルシステム構築の必要性 東北大学 車 佳、劉 庭秀

**A 7 廃棄物管理・計画(1) 【 11月20日(月) 第2会場 10:00-12:00 】**

	A 7-1	桑名市の市民参加型一般廃棄物処理基本計画策定における考察 名古屋大学 岡山朋子
ホスター-1	A 7-2	北大総合廃棄物処理評価モデル(H-IWM)の線形化と廃棄物産業連関(WIO)との統合 早稲田大学 近藤康之
ホスター-2	A 7-3	都市廃棄物の有効利用と処理システム - ごみ分別とエネルギー有効利用 - (財)東京都環境整備公社 橋本 治 日本大学 三橋博巳
ホスター-1	A 7-4	離島部における廃棄物処理システム広域化の可能性 東京大学 神座久幸、 磐田朋子、山成素子
	A 7-5	中小市町村における生ごみ資源化の推進に向けての検討 北海道大学 森山伸介、古市 徹、谷川 昇
	A 7-6	中国都市部生活ごみ現状と日中間廃棄物処理技術移転の課題 東洋大学 李 永青
	A 7-7	アジアにおける有害廃棄物管理 (独)日本貿易振興機構アジア経済研究所 小島道一 (独)国立環境研究所 村上理映、吉田 綾
	A 7-8	台湾における有害事業廃棄物管理と国際的枠組み (独)国立環境研究所 村上理映 (独)日本貿易振興機構アジア経済研究所 小島道一 (独)国立環境研究所 寺園 淳
	A 7-9	クローズドシステム処分場の安定化促進のための散水方法の検討 (株)奥村組 大塚義一 北海道大学 石井一英、古市 徹
	A 7-10	医療廃棄物の合理的な処理に関する研究 岡山大学 有森正泰、安田憲二、田中 勝
	A 7-11	自治体レベルの廃棄物行政改善のためのベンチマーキング手法導入の意義と課題に関する検討 ~ NPM のツールと情報の非対称性に着目して ~ (独)国立環境研究所 阿部直也、大迫政浩

**A 8 廃棄物管理・計画(2) 【 11月20日(月) 第2会場 16:15-18:15 】**

	A 8-1	マテリアルストック推計に必要な建築物の耐用年数および未回収資材量に関する研究 和歌山大学 東岸芳浩、稲垣さや香、谷川寛樹
	A 8-2	建設廃棄物の重量管理における「建設廃棄物管理システム：CWMS」の役割 福岡大学 松田晋太郎、市川 新
	A 8-3	一般廃棄物処理施設における地球温暖化対策に関する考察 環境省 鈴木あや子、高橋一彰、松澤 裕
ホスター-2	A 8-4	可燃性一般廃棄物処理システムとしてのメタン発酵処理の有効性に関する研究 復建調査設計(株) 縄田大輔、井上陽仁、高濱繁盛
	A 8-5	合理的な廃棄物処理施設を目指した施設内機器、設備の必要性の検討 廃棄物対応技術検討懇話会、日立造船(株) 清瀬章規 廃棄物対応技術検討懇話会、川崎重工業(株) 間瀬貴司 廃棄物対応技術検討懇話会、京都大学 武田信生
ホスター-1	A 8-6	GPS・GISの相互活用によるごみ収集地点及び収集運搬特性の解析 福岡大学 山下雅史、鈴木慎也、松藤康司

- A 8-7 プランテーションバイオマスの収集・運搬に関する考察  
富山県立大学短期大学部 立田真文、中村勇気、江尻容子
- A 8-8 エコタウン承認地域の地域特性変化から見た類型化に関する検討  
(株)九州テクニサーチ 佐藤明史、池隅達也 北九州市立大学 松永裕巳
- ポスター2 A 8-9 中国の循環経済と産業共生に関する政策の分類の試み  
北九州市立大学 劉 娟、左 健、松本 亨
- A 8-10 豊島廃棄物等処理事業における 3D-GIS データの活用に関する研究  
早稲田大学 永田勝也、中野健太郎、西郷 諭
- A 8-11 豊島廃棄物等処理事業における含ダイオキシン類物質の検討  
早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、西郷 諭

**A 9 処理処分施設計画 【 11月21日(火) 第2会場 9:30-11:00 】**

- A 9-1 産業廃棄物の発生源と処理源の物流因子  
(財)日本環境衛生センター 立尾浩一、宮田真幸 (独)国立環境研究所 山田正人
- ポスター1 A 9-2 廃棄物最終処分場の用地選定手法に関する研究  
和歌山大学 金子泰純、井伊博行 (財)紀南環境整備公社 石井信之
- A 9-3 エコ最終処分場に関する研究  
大成建設(株) 臼井直人 (株)奥村組 大塚義一 (株)クボタ 堀井安雄
- A 9-4 自然流下方式漏水検知修復システムの確立(その1)  
(株)浅沼組 下西四郎、森山保彦 (株)田中 村上 豊
- A 9-5 最終処分場の PFI 事業化手法における事例研究  
応用地質(株) 猪狩富士夫 (株)環境技研コンサルタント 西川光善  
(株)建設技術研究所 寺井和弘
- ポスター2 A 9-6 既設最終処分場の部分クローズド化埋立手法による効果について  
ウエスト マネジメント コンサルタント 菅沢晴子、加藤隆也
- A 9-7 クローズド型処分場における外部環境への影響に関する研究  
国際航業(株) 井土将博 パシフィックコンサルタンツ(株) 下村由次郎  
前田建設工業(株) 林 克彦
- A 9-8 袋体を使用した資源保管型最終処分場運営モデルのフィージビリティスタディ  
西武建設(株) 新井靖典 福岡大学 樋口壯太郎、為,田一雄

**A 1 0 処理・リサイクルシステム評価 【 11月21日(火) 第2会場 16:00-18:00 】**

- A 10-1 処理規模の異なるガス化溶融炉の LCA 評価  
関西大学 奥本拓磨、和田安彦、尾崎 平
- A 10-2 廃棄物処理システムにおける BAS の提案を目的としたソフトウェアの開発  
早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、小清水勇
- A 10-3 一般廃棄物処理事業に係る処理システムの評価等について  
環境省 高橋一彰、松澤 裕
- A 10-4 テレビ由来の廃プラスチック処理手法の LCA 評価  
東京大学 ドドビバ ジョルジ、藤田豊久
- A 10-5 ASR 処理の環境負荷評価  
早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、大川慶太
- A 10-6 蛍光管のライフサイクルに渡る水銀のインベントリ解析  
京都大学 浅利美鈴 (株)タクマ 梅原秀之 京都大学 酒井伸一
- A 10-7 廃プラスチックと廃木材を利用した人工木材のライフサイクルインベントリ分析  
北九州市立大学 左 健、松本 亨 (株)エコウッド 岩本正秋
- ポスター1 A 10-8 温室効果ガスを考慮したバイオ資源・廃棄物等の最適利用システムに関するケーススタディ  
京都大学 平井康宏 (株)アーシン 出口晋吾 京都大学 酒井伸一
- ポスター2 A 10-9 大都市部における生ごみ資源化システムの検討 -バイオガス化を選択した場合のシナリオ分析-  
北海道大学 西上耕平、古市 徹、谷川 昇
- A 10-10 有機性廃棄物再資源化を向けた都市静脈系システムの評価モデル構築及び適用  
北九州市立大学 左 健、松本 亨

**A 1 1 ライフサイクル思考に基づく評価と応用 【 11月22日(水) 第2会場 9:30-11:00 】**

- A 11-1 循環資源の持つ資源性と国際資源循環  
(独)国立環境研究所 村上進亮、寺園 淳
- A 11-2 廃棄物産業連関モデルを用いたライフスタイルの環境効率指標  
静岡大学 高瀬浩二 早稲田大学 近藤康之、鷺津明由
- A 11-3 飲料容器の効用の評価に関する試み  
早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、中村太郎



ホスター-1	A 11-4	LIME を用いたリサイクル法の費用便益分析検討 産業環境管理協会 中野勝行、青木良輔 日本工業大学 八木田浩史
	A 11-5	マテリアルリサイクルの評価方法に関する検討 (独)国立環境研究所 藤井 実、橋本征二、森口祐一
	A 11-6	動脈産業の環境負荷低減を目指した北九州エコプレミアムの取り組み 北九州市 今永 博、古川義彦、平井良知
	A 11-7	LCA 概念を導入した自治体の建設リサイクル資材認定制度の提案 北九州市立大学 鶴田 直、松本 亨

**A 1 2 リスク管理・評価 【 11 月 22 日 (水) 第 2 会場 11:30-12:45 】**

	A 12-1	政策レベルで戦略的環境アセスメントを適用する場合の手法について 大阪市立環境科学研究所 山本 攻 岡山大学 田中 勝、石坂 薫
	A 12-2	アルカリイオン水を用いた冷却塔循環水の維持管理 (株)エー・ダブリュー・アイ 小笠原智彦 朝日メンテナンス工業(株) 古川忠正 東京都立産業技術研究センター 白子定治
	A 12-3	最終処分場の立地環境特性と技術システム特性を用いた安全性の評価手法の構築 (独)国立環境研究所 坂内 修、遠藤和人、山田正人
ホスター-2	A 12-4	埋立地由来の健康リスク評価モデルの作成 東レ(株) 花田茂久 北海道大学 松藤敏彦、東條安匡
	A 12-5	最終処分場予兆診断システムの提案とカルシウムスケールのトラブル対策について 鹿島建設(株) 中村貞義 日本技術開発(株) 大寺泰輔
ホスター-1	A 12-6	廃棄物処理・リサイクルにおける安全・安心対応策に関する検討 早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、切川卓也
	A 12-7	安全設計解析手法の開発 早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、兼子洋幸
ホスター-2	A 12-8	動脈(病院内)と静脈(廃棄物処理)の連動に関する考察 (株)クレハ環境 福田弘之 日本アイ・ビー・エム(株) 松枝 毅
ホスター-1	A 12-9	感染性廃棄物追跡管理(トレーサビリティ)システム実導入報告 (株)コシダテック 高原成明、高尾美絵子 (株)クレハ環境 福田弘之
ホスター-2	A 12-10	IC タグを用いた医療廃棄物のトレーサビリティの実証実験について (株)クレハ環境 福田弘之、佐竹治仁 日本アイ・ビー・エム(株) 松枝 毅

**B 1 汚泥等の処理・資源化 【 11 月 20 日 (月) 第 3 会場 10:00-12:00 】**

	B 1-1	亜鉛めっきスラッジの山元還元 福岡大学 長田純夫 九州めっき工業組合 御船隆裕 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
	B 1-2	溶融飛灰溶出液とキレート基付加高分子表面積の重金属類回収への影響 東京都立産業技術研究センター 白子定治、谷口昌平、宮崎則幸
	B 1-3	下水臭気発生現場における電解汚泥の脱臭性能に関する研究 日本大学 岩崎尚平、大木宜章、高橋岩仁
ホスター-1	B 1-4	下水汚泥炭材を用いた揮発性有機化合物ペーパーの除去 群馬県立群馬産業技術センター 鈴木 崇
	B 1-5	亜臨界水処理を用いた下水汚泥の資源化におけるリンおよびメタン回収率に関する研究 山口大学 今井 剛、荒金光弘 宇部工業高等専門学校 村上定瞭
ホスター-2	B 1-6	豚ふん尿素掘池汚泥固化物からの窒素・重金属溶出抑制のための固化条件の探索 宮崎大学 後藤吉史、土手 裕、関戸知雄
ホスター-1	B 1-7	鉄電解汚泥の肥料効果の検討 三洋電機(株) 大江 華、鈴木晴彦、井関正博
ホスター-2	B 1-8	鉄電解による下水汚泥脱離液からのりん回収および再資源化 東京都 宮本彰彦 月島機械(株) 中林 昭 三洋電機(株) 鈴木晴彦
ホスター-1	B 1-9	水産廃魚骨資源のセラミックス資源化と応用技術 名古屋工業大学 小澤正邦
	B 1-10	水素・メタン二段発酵法による食堂残飯と紙ごみのバイオガス化特性 (株)荏原製作所 片岡直明、葛蒲昌平、宮晶子
	B 1-11	ソノフォトカタリシスによる下水汚泥の分解特性 東北大学 林 直人、小池 智、葛西栄輝
	B 1-12	家畜ふん尿の堆肥化・バイオガス化に伴う臭気及び温室効果ガス低減に関する考察 北海道大学 小野貴弘、古市 徹、谷川 昇
ホスター-2	B 1-13	引火性油分含有固形廃棄物の引火抑制 (株)クレハ環境 福田弘之、大岡幸裕、本郷和広

## B 2 生ごみの処理・資源化(1) 【 11月20日(月) 第3会場 14:15-15:45 】

- B 2-1 水素・メタン二段醗酵の最適化と実証運転  
鹿島建設(株) 福井久智、上野嘉之、後藤雅史
- B 2-2 ペットボトル廃材を好気固相の充填材として利用した生ゴミの連続分解処理に関する研究  
(有)シーウェル 長尾宣夫 創価大学 松山 達、戸田龍樹
- B 2-3 新しい静置型生ゴミ処理装置の試作と性能評価  
静岡大学 松田智 ムロコーポレーション 荒井邦博、室義一郎
- B 2-4 水蒸気爆砕操作を前処理としたでんぷん質の熱水糖化  
中央大学 今井嘉美、船造俊孝
- B 2-5 堆肥化材料からのアンモニア発生の抑制  
山梨大学 金子栄廣 山梨県 青木 隆 静岡県立大学 佐野慶一郎
- ホスター-1 B 2-6 家畜ふんの堆積型堆肥化過程からの環境負荷ガス発生  
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 長田 隆、前田高輝、森岡理紀
- ホスター-2 B 2-7 加熱前処理が有機性廃棄物の堆肥化プロセスに及ぼす影響  
(株)オプトウェーブ研究所 橋本朋子、山田和夫 静岡大学 中崎清彦
- B 2-8 コンポスト化反応における酸素供給とpHの挙動  
山梨大学 仲間菜穂、金子栄廣
- ホスター-1 B 2-9 食品廃棄物の中温コンポスト化による有機物分解促進  
宇都宮大学 竹澤克政、岩淵和則 東京農工大学 野呂瀬幸政

## B 3 生ごみの処理・資源化(2) 【 11月21日(火) 第3会場 9:30-10:45 】

- B 3-1 アンケートによる札幌市の廃棄物系バイオマスの堆肥利用促進策の検討  
北海道大学 浅岡幸基、古市 徹、石井一英
- B 3-2 実用規模コンポスト化における有機物分解過程と数式モデル  
静岡大学 中崎清彦、権 成桓 (株)マルイ 圓井健敏
- ホスター-2 B 3-3 リグニン分解酵素によるコンポストの腐熟度評価  
山口大学 樋口隆哉、浮田正夫、今井 剛
- ホスター-1 B 3-4 異なる充填材を用いた好気固相反応型生ごみ処理槽における微生物相の解析  
創価大学 渡邊啓子、戸田龍樹、黒沢則夫
- B 3-5 ダンボールコンポストの「使いやすさ」に重点をおいた地産地消型適正基材開発  
特定非営利活動団体循環生活研究所 平由以子 九州大学 近藤加代子
- ホスター-2 B 3-6 高温コンポスト化における脂肪分解過程  
静岡大学 中崎清彦、加藤聡一郎、佐々木雅彦
- B 3-7 コンポスト中における生分解性プラスチックの分解  
山梨大学 落合 知、金子栄廣、田中靖浩
- B 3-8 ホタテガイ由来セルラーゼを用いた製紙汚泥からのL-乳酸生成  
静岡大学 中崎清彦、柳澤満則

## B 4 メタン発酵(1) 【 11月21日(火) 第3会場 16:15-18:00 】

- ホスター-1 B 4-1 実用プラントによる食品廃棄物のメタン発酵に関する微生物学的研究  
佐賀大学 井手健太郎 (有)鳥栖環境開発総合センター 高木修一 佐賀大学 染谷 孝
- B 4-2 二段階メタン発酵システム稼働時の有機酸挙動に関する研究  
日本大学 木科大介、大木宜章、高橋岩仁
- B 4-3 高温固定床式リアクタによる酢酸及びプロピオン酸のメタン発酵特性  
鹿島建設(株)、東京農工大学 多田羅昌浩 鹿島建設(株) 牧内崇志  
東京農工大学 早出広司
- B 4-4 有機性固形廃棄物の無希釈メタン発酵に関する研究  
鹿島建設(株) 宮野 寛、多田羅昌浩、後藤雅史
- B 4-5 無希釈・二相循環式メタン発酵システムによる実生ごみの処理特性  
アタカ工業(株) 西崎吉彦、奥野芳男、小泉佳子
- B 4-6 廃棄物系バイオマスの混合高温メタン発酵処理  
鹿島建設(株) 後藤雅史、八村幸一、多田羅昌浩
- ホスター-2 B 4-7 BDF 製造工程の洗浄廃水のメタン発酵処理  
日本工業大学 鈴木勝之、佐藤茂夫
- B 4-8 エネルギー物質回収残渣の高温メタン発酵によるバイオガス化  
三重県科学技術振興センター 男成妥夫、吉岡 理

- ホスタ-1 B 4-9 リパーゼ添加による脂肪のメタン発酵処理の高効率化  
日本工業大学 佐藤茂夫、 前田宏樹
- B 4-10 不法投棄廃棄物の資源化に向けたバイオガス発生特性の検討  
北海道大学 稲葉陸太、古市 徹、小松敏宏
- ホスタ-2 B 4-11 不適正最終処分場等の修復・再生システムの一環としてのバイオガスの回収の可能性の検討(2)  
静岡理工科大学 惣田昱夫、北村昌俊 北海道大学 古市 徹

**B 5 メタン発酵(2) 【 11月22日(水) 第3会場 9:30-11:00 】**

- ホスタ-1 B 5-1 炭水化物を基質とする連続水素発酵における発酵条件の検討  
神奈川県環境科学センター 渡邊久典、福井 博
- B 5-2 北海道における食品廃棄物の発生特性とメタン発酵特性  
北海道大学 小笠原陽子、古市 徹、小松敏宏
- B 5-3 地域の有機性廃棄物の混合によるバイオガス発生特性  
北海道大学 木越雅美、古市 徹、小松敏宏
- B 5-4 乾式メタン発酵に適したごみ選別システムの開発  
(株)タクマ 河村公平 日立造船(株) 松本智樹 川崎重工業(株) 遠藤健一郎
- B 5-5 「先進型高効率乾式メタン発酵システム実験事業」(第1報) - 可燃ごみ各組成のバイオガス発生特性に関する研究  
穂高広域施設組合 森田 信 栗田工業(株) 三崎岳郎 (株)東洋設計 西嶋真幸
- B 5-6 固形有機性廃棄物の乾式メタン発酵特性  
東京農工大学 大野真穂、東城清秀、渡辺兼五
- B 5-7 北海道中北空知地域の生ごみ分別収集とバイオガス化施設の維持管理費  
北海道大学 古市 徹、谷川 昇 鹿島建設(株) 八村幸一

**B 6 メタン発酵(3) 【 11月22日(水) 第3会場 11:30-13:00 】**

- B 6-1 竹炭を用いた高速・高効率連続メタン発酵プロセスの検討  
大阪府立大学 徳本勇人、 作田伸彰、吉田弘之
- ホスタ-2 B 6-2 嫌気性消化汚泥のメタン発酵過程における微量元素の吸収  
創価大学 鎌内宏光、木全 - 木野則子、松山 達
- B 6-3 生ゴミと下水汚泥の混合消化に関する研究  
北九州市環境局環境科学研究所 江口芳夫、梨田 実、下原悦子
- B 6-4 高温メタン発酵による給食ごみのバイオガス化実証試験(第3報)  
富士電機アドバンステクノロジー(株) 清水康次、 富内芳昌  
富士電機システムズ(株) 石川冬比古
- ホスタ-1 B 6-5 うどん湯煮廃液の処理技術に関する研究(2)  
香川県環境保健研究センター 藤田久雄、岡市友利、藤田淳二
- B 6-6 泡盛蒸留廃液メタン発酵処理への浸漬型膜の適用  
合資会社比嘉酒造 比嘉昌晋 (株)クボタ 石橋憲明、師 正史
- B 6-7 海藻バイオマスを用いた嫌気性消化汚泥の馴化に関する研究  
創価大学 泉 光一 (有)シーウェル 長尾宣夫 創価大学 戸田龍樹
- ホスタ-2 B 6-8 海藻バイオマスを用いたメタン発酵技術  
東京ガス(株) 松井 徹、西願寺篤史、天野寿二
- B 6-9 ムラサキイガイを用いた嫌気性消化プロセスの耐塩性に関する研究  
創価大学 林 詠潔 (有)シーウェル 長尾宣夫 創価大学 戸田龍樹

**B 7 建設廃棄物・プラスチックの資源化 【 11月20日(月) 第4会場 16:15-18:00 】**

- B 7-1 建設混合廃棄物の性状と処理に関する基礎的研究  
鹿島建設(株) 間宮 尚 高俊興業(株) 高橋俊美、高橋 潤
- ホスタ-1 B 7-2 実態調査に基づいた建物解体廃棄物の分別回収向上に向けて  
木造戸建住宅を対象として  
(独)産業技術総合研究所 小林謙介 鹿島建設(株) 間宮 尚 東京理科大学 田中秀樹
- ホスタ-2 B 7-3 実態調査に基づいた建物解体廃棄物の分別回収向上に向けて  
RC造系建物を対象として  
東京理科大学 田中秀樹 鹿島建設(株) 間宮 尚 (独)産業技術総合研究所 小林謙介
- B 7-4 セメント製造工程で発生するCa-Pb含有微粉の浮選による再資源化と連続処理試験  
秋田大学 柴山 敦 太平洋セメント(株) 鈴木崇幸、大神剛晃
- ホスタ-1 B 7-5 石膏廃材の還元熱分解による重金属硫化剤の調製  
名古屋大学 三原直人、Kucher Dalibor、松田仁樹
- B 7-6 廃石膏ボードを原料とした硫化カルシウムの製造に関する検討  
(株)宇部三菱セメント研究所 橋村雅之、戸田靖彦、山本靖弘
- ホスタ-2 B 7-7 砒素汚染汚泥の粒状固化処理土に適用する各種不溶化の検討  
飛鳥建設(株) 伊藤良治、鈴木倫江

- ホスタ-1 B 7-8 木材液化技術によるクレオソート処理廃材利用の検討  
富山県林業技術センター 鈴木 聡
- B 7-9 使用済みケミカルフィルタの洗浄再利用に関する研究(その2) ~ベンチスケールテストによる洗浄性能の検証~  
ダイダン(株) 田村和也、中村 真 (独)産業技術総合研究所 鈴木 明
- B 7-10 FRP 廃船から回収したガラス繊維とホタテ貝殻を原料とした FRP の開発  
青森県工業総合研究センター 廣瀬 孝 (株)国土社 市川友博、斎藤一志
- ホスタ-2 B 7-11 回収炭素繊維を用いた CFRP の製法  
日立化成工業(株) 柴田勝司、前川一誠、北嶋正人
- ホスタ-1 B 7-12 複合系電線被覆ゴム廃材を利用した廃発泡スチロールの材料リサイクル(2)  
宇都宮大学 木村隆夫、藤本和也 (株)創研 高橋裕一
- B 7-13 各種有機溶媒中でのガラスクロスエポキシ樹脂積層板の可溶性 - 電子基板からの金属の回収と樹脂の再利用 -  
(独)産業技術総合研究所 加茂 徹 千葉大学 赤石直也、中込秀樹
- B 7-14 塩ビ壁紙廃材からの活性炭製造プロセスの開発(第3報)  
(株)クレハ環境 福田弘之、吉賀俊一郎、石橋文厚
- ホスタ-2 B 7-15 使用済みゴムクロアの切断・分離技術に関する研究 - 切断装置1号機の開発 -  
生物系特定産業技術研究支援センター 藤井幸人、大西正洋、小倉昭男
- ホスタ-1 B 7-16 廃プラスチックと廃木材の混合固形燃料の製造方法と燃焼性評価  
中部大学 行本正雄 名古屋大学 遠藤小太郎、武田邦彦
- ホスタ-2 B 7-17 廃棄物燃料貯留時の吸湿・吸着熱による自然発火特性の検討  
月島機械(株) 町田高穂 北海道大学 角田芳忠、松藤敏彦

**B 8 焼却灰の資源化(1) 【11月21日(火) 第4会場 9:30-11:00】**

- ホスタ-1 B 8-1 廃タイヤ焼却灰と塩ビの混合熱処理を利用する活性炭の製造  
名古屋市工業研究所 山口浩一、木下武彦、秋田重人
- B 8-2 シュウ酸を用いた飛灰中カルシウムの酸性ガス吸収剤としての再生  
名古屋大学 澤田佳代、鈴木通仁、榎田洋一
- B 8-3 水素生成原料としての廃棄物焼却灰の品質について  
(独)国立環境研究所 山田亜矢、山田正人 龍谷大学 石垣智基
- B 8-4 有機物を混合した燃焼残渣の促進土壌化：ボイラー蒸気を利用した水熱処理の応用  
(独)国立環境研究所 大迫政浩、川端篤志 県立広島大学 崎田省吾
- ホスタ-2 B 8-5 家畜ふん焼却灰からのリン溶出残渣の有効利用について  
宮崎大学 津波古敦信、土手 裕、関戸知雄
- ホスタ-1 B 8-6 豚ふん由来焼却灰からのリン酸一水素カルシウムの回収  
宮崎大学 貝掛勝也、関戸知雄、土手 裕
- B 8-7 貯留方式による焼却飛灰の湿式洗浄実験  
(財)日本立地センター 秋元耕一郎 (株)横河ブリッジ 小櫻義隆、永田 考
- B 8-8 都市ごみ焼却灰中塩素の低減に関する検討  
京都大学 橋本 瞳、高岡昌輝、武田信生
- ホスタ-2 B 8-9 有機物の共存下における焼却灰中の塩素の溶出挙動(2)  
栗田工業(株)、九州大学 成岡朋弘 九州大学 長野貴之、竹本智典
- B 8-10 廃棄物処理センターにおける広域廃棄物処理  
(財)三重県環境保全事業団 黒木清篤 (株)クボタ 黒石 智、寶正史樹

**B 9 焼却灰の資源化(2) 【11月21日(火) 第4会場 16:15-18:00】**

- ホスタ-1 B 9-1 LCA (Life Cycle Assessment) による溶融飛灰資源化の環境負荷評価  
早稲田大学 永田勝也、小野田弘土、寺嶋和彰
- B 9-2 資源保管型埋立システムに関する研究  
福岡大学 樋口壯太郎、石田泰之 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
- B 9-3 焼却灰の溶融・溶流過程の可視化について  
千葉県北総県民センター 原 雄 ユニチカ(株) 長澤松太郎  
東金市外三市町清掃組合 石田晃一
- B 9-4 廃プラスチックを利用した灰溶融技術におけるケミカルリサイクル効果に関する熱力学的考察  
京都大学 武田信生 (株)アーシン 浦邊真郎 大阪ガス(株) 青木康修
- B 9-5 焼成処理における都市ごみ焼却主灰中 Pb の挙動  
京都大学 櫻井あや、高岡昌輝、武田信生
- B 9-6 有機酸を用いた都市ごみガス化溶融飛灰からの重金属浸出  
東北大学 溝口忠昭、吉岡敏明、齋藤千愛

- B 9-7 金属回収のための溶融炉運転条件による重金属揮発挙動に関する研究  
東京都 富川博貴 北海道大学 岡田敬志、東條安匡
- B 9-8 減圧加熱による溶融飛灰中重金属塩化物の揮発速度解析  
新東工業(株) 中山勝也、高田 満 名古屋大学 松田仁樹
- ホスタ-2 B 9-9 溶融飛灰中の塩素除去法に関する研究  
北海道大学 岡田敬志、東條安匡、松藤敏彦

**B 1 0 溶融スラグの資源化 【 11月22日(水) 第4会場 9:30-11:00 】**

- B 10-1 産廃スラグの岩石学的記載  
千葉科学大学 安藤生大 千葉県環境研究センター 原 雄  
ジャパン・リサイクル(株) 植木 茂
- B 10-2 不法投棄物溶融スラグの安全性評価とコンクリート用骨材への適用性  
地方(独)岩手県工業技術センター 白藤裕久、平野高広、佐々木秀幸
- B 10-3 水砕した不法投棄物溶融スラグのコンクリート骨材への利用  
岩手県環境保健研究センター 佐々木秀幸 岩手大学 藤原忠司  
岩手県工業技術センター 平野高広
- ホスタ-1 B 10-4 不法投棄物溶融スラグのアスファルト混合物への適用性  
(地独)岩手県工業技術センター 八重樫貴宗、菅原龍江、平野高広
- B 10-5 モルタルに混和材として用いるごみ溶融スラグ微粉末の性状に関する検討  
(株)内山アドバンス 齊藤丈士 ものつくり大学 中田善久 川崎重工業(株) 菅田雅裕
- B 10-6 生コンに用いるごみ溶融スラグ細骨材の物理的性質に関する検討  
ものつくり大学 中田善久 (株)内山アドバンス 齊藤丈士 日本大学 大塚秀三
- B 10-7 溶融スラグ細骨材を用いた左官モルタルへの適用に関する実験的研究  
ものつくり大学 鈴木大介、中田善久 川崎重工業(株) 菅田雅裕

**B 1 1 その他有機系廃棄物の資源化(1) 【 11月20日(月) 第4会場 10:00-11:30 】**

- ホスタ-2 B 11-1 コーヒーかすを用いたアンモニアのバイオマス窒素化による脱臭  
静岡県畜産試験場 佐藤克昭、遠藤 悟、土屋純夫
- B 11-2 ヨシおよび竹活性炭のVOCおよび悪臭、カビ臭吸着特性について  
滋賀県東北部工業技術センター 脇坂博之 群馬大学 河原 豊
- B 11-3 湿式・乾式結合方式による有機性廃棄物処理装置について  
三和コスモス環境(株) 岩淵美紀、深山信亜、宮下勇治
- B 11-4 木質細片を用いた有機性廃棄物分解処理に関する研究(2)  
千葉県環境研究センター 石渡康尊 千葉県北総県民センター 原 雄  
三和コスモス環境(株) 深山信亜
- B 11-5 連続水素発酵における窒素-炭素バランスの水素生成能および微生物叢に及ぼす影響  
熊本大学 川越保徳 日立造船(株) 日野なおえ 熊本大学 岩佐知典
- ホスタ-1 B 11-6 付着固定化担体を用いた嫌気性水素発酵の安定化に関する基礎検討  
熊本大学 中尾雅治、川越保徳 日立造船(株) 日野なおえ
- B 11-7 廃動物油脂を原料としたバイオディーゼル燃料の低温特性に関する検討  
日本大学 月井慎一、平野勝巳、真下 清
- B 11-8 粗BDFの分離・精製プロセスの最適化に向けた相平衡推算モデルの適用と評価  
(独)国立環境研究所 倉持秀敏 京都市 中村一夫 京都大学 酒井伸一

**B 1 2 その他有機系廃棄物の資源化(2) 【 11月20日(月) 第4会場 14:30-16:00 】**

- B 12-1 地ビール工場より排出されるモルト粕の資源化  
東京大学 藤井隆夫、迫田章義
- ホスタ-2 B 12-2 高圧流体を用いた食品廃棄物の高効率資源化に関する研究  
(独)国立環境研究所 佐伯 孝、倉持秀敏、川本克也
- B 12-3 水熱処理による野菜廃棄物のガス化に関する研究  
広島県立西部工業技術センター 今村邦彦、樋口浩一  
広島県立東部工業技術センター 橋本寿之
- B 12-4 混合廃棄物中有機物質の熱分解油化  
日本大学 山本匡徳、菅野元行 ガラス・リソーシング(株) 小松明博
- B 12-5 初殻を原料としたリン回収材の開発  
秋田県健康環境センター 成田修司、珍田尚俊、土田重二
- ホスタ-1 B 12-6 農業残さの堆肥化利用に関する研究  
秋田県農林水産技術センター 石田頼子、村上 章
- B 12-7 水蒸気改質に伴い排出する改質液の有効成分に関する研究  
東京農業大学 佐貫安希子、馬場竜介、入江満美

ホスタ-2	B 12-8	炭化物を使用した融雪歩道材の研究開発	龍谷大学	占部武生	大木工藝(株)	大木武彦
ホスタ-1	B 12-9	未利用バイオマスと廃棄物焼却灰の混合物からの水素発生メカニズムの検討 (独)国立環境研究所	澤村啓美	龍谷大学	石垣智基	(独)国立環境研究所 山田正人
ホスタ-2	B 12-10	糖類の有効利用のための連続変換技術の開発	熊本大学	斉藤 崇、佐々木満、	後藤元信	
ホスタ-1	B 12-11	水熱処理によるプラスチック含有食品廃棄物の粉末燃料化	静岡大学	岡島いづみ	藤村通商 木村 巖	静岡大学 佐古 猛
	B 12-12	プラズマ放電を利用した環境浄化用脱臭装置の開発	群馬県立群馬産業技術センター			鈴木 崇

**C 1 廃棄物熱分解技術(1) 【 11月20日(月) 第5会場 16:15-17:45 】**

C 1-1	焼却施設の改造・運転、DXNs 排出、各種調査・検討・審査の実態	環境保全工学研究所	福本 勤
C 1-2	ごみ焼却炉ボイラ向け高温腐食センサの実炉試験	川崎重工業(株)	亀井裕次、水田明能、香西幸男
C 1-3	直接熔融炉におけるガス羽口吹込み技術の開発(第2報)	新日本製鐵(株)	西 猛、芝池秀治 習志野市 佐藤美喜雄
C 1-4	ガス化熔融炉施設の詳細実態と評価	(独)国立環境研究所	川本克也 日本技術開発(株) 中川秀利、古庄香哉
C 1-5	一塔式熱分解ガス化溶融ごみ処理システムの稼働状況	三菱重工業(株)	佐藤 淳、寺澤良則、保田静生
C 1-6	プラズマ式灰溶融炉の炉内解析	日立造船(株)	古林通孝、中谷光良、中村和範

**C 2 廃棄物熱分解技術(2) 【 11月21日(火) 第5会場 9:30-11:00 】**

C 2-1	模擬廃油燃焼場における微粒子の生成特性	豊橋技術科学大学	金岡俊樹、村松健志、成瀬一郎	
C 2-2	過熱水蒸気炭化法で製造した炭化物の基礎理化学性	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所	凌 祥之、陳 嫣	
C 2-3	脱塩素化した PVC を原料とした環境に優しい活性炭の製造とその機能化	豊橋技術科学大学	角田範義、青井茂樹、大北博宣	
C 2-4	廃フェノール樹脂を利用した機能性吸着材の開発	秋田県産業技術総合研究センター	遠田幸生、竹村昌太、佐藤和美	
C 2-5	廃棄物炭化技術及び炭素燃料電池の開発-ハワイ大学における取り組み	東京大学	布浦鉄兵 ハワイ大学 Michael J. Antal	
ホスタ-2	C 2-6	廃棄物由来炭化物の灰分除去と存在形態に関する研究	NOK(株) 中島大輔	北海道大学 黄 仁姫、松藤敏彦
C 2-7	RPF を用いたガス化 - 改質による水素製造	(独)国立環境研究所	呉 畏、川本克也、倉持秀敏	
ホスタ-1	C 2-8	廃木材 + PVC の熱分解過程における HCl の排出挙動	(独)国立環境研究所	倉持秀敏、中島大介、川本克也

**C 3 排ガス処理 【 11月21日(火) 第5会場 16:15-18:00 】**

C 3-1	実炉でのナトリウム系薬剤による乾式排ガス処理実績	三井造船(株)	杉本富男、宮川 満、馬場 健	
ホスタ-2	C 3-2	セラミックフィルタとナトリウム系薬剤による新排ガス処理システム	(株)タクマ	麻生知宣、倉田昌明、田口雅一
C 3-3	ナトリウム系薬剤によるダイオキシン類除去	(株)タクマ	倉田昌明、前田典生、鮫島良二	
C 3-4	触媒 BF の性能評価と既設炉への適用事例	三機工業(株) 須山友一	新東工業(株) 中根幹夫	パブコック日立(株) 山田晃広
C 3-5	ハロゲンガスの非平衡プラズマ分解における共存雰囲気の影響	名古屋大学	河野孝幸、藤田隆文、松田仁樹	
C 3-6	発生源における水銀の形態別連続モニタリング技術について	岡山大学	山形光生、安田憲二、田中 勝	
C 3-7	自動車シュレッダーダスト(ASR)焼却時の水銀挙動と環境影響	(独)国立環境研究所	高橋史武、貴田晶子	京都大学 酒井伸一
C 3-8	石炭灰 / 消石灰複合吸収剤を用いた PVC 混合プラスチックの熱分解脱塩処理	中部電力(株)	棚橋尚貴、稲垣秀樹	名古屋大学 松田仁樹

**C 4 ダイオキシン類制御 【 11月22日(水) 第5会場 9:30-10:45 】**

- ホスター1 C 4-1 焼却に伴うダイオキシン類生成での燃焼部の役割  
(独)産業技術総合研究所 畑中健志、北島暁雄、竹内正雄
- C 4-2 廃棄物処理におけるポリ塩化ナフタレンの異性体組成  
(独)国立環境研究所 野馬幸生、山本貴士 京都大学 酒井伸一
- C 4-3 ボイラダストからの二次生成が非定常時のダイオキシン類排出に与える影響  
京都大学 服部成真、武田信生 (株)タクマ 手島 肇
- C 4-4 燃焼排ガス中のダイオキシン類生成に及ぼす残存酸素濃度の影響  
大阪大学 川端弘俊 阪和興業(株) 秋田壮一 大阪大学 碓井建夫
- C 4-5 ダイオキシン類のプラズマ分解に及ぼす飛灰中金属化合物の影響  
名古屋大学 今井康友、笹井 亮、伊藤秀章
- C 4-6 燃焼排ガス中の未燃物遠心分離再燃焼法による有害物質の極小化  
大阪大学 川端弘俊、笠本啓太、碓井建夫
- ホスター2 C 4-7 排ガス中の有機ハロゲン化合物のサンプリングトレインにおける挙動について  
大阪市立環境科学研究所 高倉晃人 (株)電源開発 渡部 剛 大阪工業大学 渡辺信久

**C 5 焼却灰性状 【 11月20日(月) 第5会場 10:00-11:15 】**

- C 5-1 欧州石炭灰フライアッシュ規格についての調査  
太平洋セメント(株) 野崎賢二 電源開発(株) 石川嘉崇
- ホスター1 C 5-2 石炭灰の有効利用に関する安全性向上技術の開発(その3) 直接脱水方式による酸洗浄ほう素抽出試験  
(株)大林組 井出一貴、甚野智子 相馬環境サービス(株) 熊谷祐一
- ホスター2 C 5-3 蛍光X線分析を用いた石炭灰溶融繊維の耐薬品性試験  
明治大学 柴崎幹生 J-POWER 石川嘉崇 清水建設(株) 熊谷 茂
- C 5-4 都市ごみ焼却飛灰の結晶組成と全分析  
明治大学 大淵敦司、中村利廣
- C 5-5 一般廃棄物焼却灰の塩類調査  
宮城県保健環境センター 柳 茂、菅原隆一、斎藤善則
- C 5-6 飛灰中カドミウムの逐次抽出法による化学形態の分析  
京都大学 高岡昌輝 三井造船(株) 船附淳志 京都大学 武田信生
- ホスター1 C 5-7 焼却主灰中の鉛の化学形態別逐次抽出法の検討  
明治大学 大前一樹、鈴木義文、中村利廣
- C 5-8 埋立焼却灰粒子への鉛の吸着機構に関する研究  
九州大学 齊藤啓輔、島岡隆行、江藤次郎

**C 6 焼却灰安定化 【 11月20日(月) 第5会場 14:30-15:45 】**

- C 6-1 環境修復における分級効果に関する研究  
福岡大学 為,田一雄、趙 銀娥、樋口壮太郎
- C 6-2 最終処分のための飛灰の重金属溶出制御  
横浜国立大学 齋藤真理、堀 雅宏
- C 6-3 エージングによる都市ごみ焼却主灰中鉛の安定化機構の解明  
京都大学 井澤琢磨、高岡昌輝、武田信生
- C 6-4 埋め立て廃棄物のキャラクタリゼーション(2)  
太平洋セメント(株) 田野崎隆雄、三浦啓一 岡山大学 小野芳朗
- C 6-5 埋立都市ごみ焼却残渣の炭酸化現象に伴う重金属溶出抑制  
九州大学 江藤次郎、島岡隆行 福岡大学 脇田久伸
- ホスター2 C 6-6 飛灰セメント固化物の二酸化炭素による中性化処理の検討  
大阪市立大学 水谷 聡、山田攻男、貫上佳則
- ホスター1 C 6-7 二酸化炭素を用いた中性化処理による都市ごみ焼却飛灰セメント固化物からの重金属溶出量の変化  
大阪市立大学 山田攻男、貫上佳則、雑賀弘晃

**D 1 埋立地内の化学物質の溶出と挙動 【 11月22日(水) 第6会場 11:30-12:45 】**

- D 1-1 焼却灰埋立海面処分場における重金属の動態と生化学的条件  
京都大学 嘉門雅史、勝見 武、大矢好洋
- ホスター2 D 1-2 埋立処分される一般廃棄物破碎選別処理残渣の質制御  
埼玉県環境科学国際センター 渡辺洋一、川崎幹生、小野雄策
- D 1-3 最終処分場テストセル埋立層からの無機元素溶出挙動  
岡山大学 鈴木和将、毛利紫乃、小野芳朗
- D 1-4 廃棄物最終処分場浸出水中の1,4-ジオキサンの起源に関する調査研究  
高知大学 藤原 拓 埼玉県環境科学国際センター 倉田泰人、小野雄策

	D 1-5	ビスフェノール A および 1,4-ジオキサンのシュレッターダストからの溶出と焼却飛灰への吸着に関する研究	高知大学	玉田 徹、宇野陽亮、藤原 拓
ポスター-1	D 1-6	実廃棄物からのフェノール類の溶出特性と無機廃棄物活用による排出抑制	愛媛大学	西村文武、高知大学 藤原 拓、岡山大学 小野芳朗
ポスター-2	D 1-7	海岸漂着レジンペレットに吸着するノニルフェノール (NP)、ビスフェノール A (BPA) の GC/MS 分析	東京海洋大学	早坂 創、兼廣春之、榎 牧子
ポスター-1	D 1-8	廃棄物中に含まれる化学物質の in-situ ラマン分光法	日本大学	古山知広、沼田 靖、田中裕之
	D 1-9	廃蛍光管からの水銀溶出挙動	横浜国立大学	野島太郎、堀 雅宏

**D 2 埋立地浸出水 【 11月21日(火) 第6会場 9:30-11:00 】**

ポスター-2	D 2-1	浸透性反応層 (PRB) による固相浄化システムを用いた埋立実験	埼玉県環境科学国際センター	小野雄策、磯部友護、渡辺洋一
	D 2-2	高等植物を利用した模擬廃棄物処分場における透水性反応層導入効果の評価	岡山大学	出雲貴巳、毛利紫乃、小野芳朗
	D 2-3	廃棄物最終処分場における溶存有機物と重金属の錯体形成の評価	岡山大学	新居昌賀、鈴木和将、小野芳朗
ポスター-1	D 2-4	埋立地浸出水等の親水性化学物質 (第2報) (浸出水中のフェノール類)	埼玉県環境科学国際センター	倉田泰人、小野雄策、岡山大学 小野芳朗
	D 2-5	最終処分場の廃止時期の判定における浸出液採取方法の検討	神奈川県環境科学センター	福井 博、高橋通正、斉藤邦彦
	D 2-6	廃菌床等廃棄物を有機炭素源に利用した浸出水脱室処理の検討	(財)長野県廃棄物処理事業団	山本一海、信州大学 寺澤雅登、松本明人
ポスター-2	D 2-7	紫外線/オゾン反応装置におけるオゾン吸収特性に関する研究	(株)クボタ	中河浩一、吉崎耕大、寺尾 康
	D 2-8	電気透析による廃棄物処分場埋立地浸出水中カルシウムの除去	龍谷大学	岸本直之 (独) 国立環境研究所 阿部 誠、岡山大学 小野芳朗
ポスター-1	D 2-9	浸出水中 Ca の除去状況モニタリング手法の開発	(株)フジタ	久保田洋、矢島 聡、岡本太郎
ポスター-2	D 2-10	曝気循環式準好気性を用いた有機性廃棄物からの浸出水挙動に関する研究	福岡大学	平田 修、精華大学 熊 麗君、福岡大学 松藤康司
	D 2-11	最終処分場の歴史的視点からの考察(2) - 浸出水処理技術の変遷 -	ユニチカ(株)	田上 聡、福岡大学 樋口壯太郎、大成建設(株) 押方利郎

**D 3 埋立地遮水(1) 【 11月21日(火) 第6会場 16:00-18:00 】**

	D 3-1	電気検知方式を用いた二重遮水シートの損傷孔規模の把握	国土交通省国土技術政策総合研究所	小田勝也、若築建設(株) 木俣陽一、 太洋興業(株) 下田宏治
	D 3-2	電気検知システムを用いた袋状二重シートの健全性評価技術の開発	国土交通省国土技術政策総合研究所	小田勝也、大林組(株) 大西健司、 東ソー・ニッケツミ(株) 清水禎一
	D 3-3	しゃ水シートの漏水検知・補修システムの廃棄物最終処分場への適用	応用地質(株)	小林 剛 (株)大林組 光本 純、太洋興業(株) 吉田和久
ポスター-1	D 3-4	廃棄物最終処分場底部遮水工からの漏水模擬実験	室蘭工業大学	吉田英樹、穂積 準
ポスター-2	D 3-5	クローズドシステムにおける鉄筋を利用した漏水検知システムの開発	清水建設(株)	大野文良、坂田電機(株) 成田賢美
	D 3-6	光ファイバセンサを用いた漏水検知システムの開発	国土交通省国土技術政策総合研究所	小田勝也、東亜建設工業(株) 笹井 剛、 東急建設(株) 椿 雅俊
	D 3-7	H-H継手を施した連結鋼管矢板の変形を想定した遮水性試験	京都大学	稲積真哉、木村 亮、連結鋼管矢板工法研究会 西山嘉一
	D 3-8	基礎杭打設による海面処分場の底面遮水工に与える影響	中電技術コンサルタント(株)	蔦川 徹、呉工業高等専門学校 森脇武夫、 広島県保健環境センター 岡本 拓
	D 3-9	キャピラリーバリア型覆土の浸透量予測	日本国土開発(株)	坂本 篤、岡山大学 西垣 誠、日本国土開発(株) 佐藤 泰



- ポスター-1 D 3-10 最終処分場の有害物質の安全・安心保障その1「水量の制御と豪雨対策(2)」  
 岡山大学 西垣 誠、小松 満 日本国土開発(株) 坂本 篤  
 D 3-11 表面波探査技術による既存最終処分場の状況把握手法の研究  
 (財)日本環境衛生センター 岸川栄二、八村智明 応用地質(株) 眞鍋和俊

**D 4 埋立地遮水(2) 【 11月22日(水) 第6会場 9:30-11:15 】**

- D 4-1 廃棄物最終処分場におけるベントナイトブロック遮水構造の実用性  
 西武建設(株) 成島誠一  
 D 4-2 ベントナイト混合土への現場透水試験装置を用いた透水試験結果  
 飛鳥建設(株) 松崎達也、沼田淳紀 岡山大学 花村哲也  
 D 4-3 最終処分場に活用するベントナイト混合土の変形性能と設計手法の提案  
 八千代エンジニアリング(株) 宇佐見貞彦 日本国土開発(株) 工藤賢吾  
 宇都宮大学 今泉繁良  
 ポスター-2 D 4-4 土質遮水材とアスファルト混合物を組み合わせた多層遮水構造に関する研究2  
 (株)大林組 柴田健司、石田道彦 大林道路(株) 堀 浩明  
 D 4-5 重金属捕集機能を有する遮水材料の力学・遮水特性  
 福岡大学 林 義晃、平野文昭、佐藤研一  
 D 4-6 限界添加率の多孔質材料への適用性に関する研究  
 宇都宮大学 今泉繁良、吉直卓也 三井住友建設(株) 高橋直樹  
 D 4-7 ひずみエネルギー密度関数を用いた遮水シートの二軸引張変形挙動の検討  
 東北大学 狩野真吾 土木シート技術協会 近藤三樹郎  
 国土交通省国土技術政策総合研究所 小田勝也  
 ポスター-1 D 4-8 大型土槽を用いた遮水シートの引き抜き実験  
 五洋建設(株) 吉田 誠 国土交通省国土技術政策総合研究所 小田勝也  
 東北大学 狩野真吾  
 D 4-9 保護マットの貫入抵抗性能とその保護性能についての考察  
 東ソー・ニッケミ(株) 近藤三樹郎 東北大学 狩野真吾 日本シート工業(株) 増淵光亮  
 ポスター-2 D 4-10 最終処分場の安全性向上に関する研究  
 東ソー・ニッケミ(株) 清水禎一 (株)大林組 嶽本政宏 日本技術開発(株) 福島孝亮

**D 5 埋立地安定化・跡地利用(1) 【 11月20日(月) 第6会場 10:00-12:00 】**

- D 5-1 廃棄物埋立地の早期廃止・安定化促進に関する研究  
 (株)クボタ 吉崎耕大 福岡大学 樋口壮太郎  
 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝  
 D 5-2 安定化対処方法、安定化促進工法とその選定方法  
 特定非営利活動法人 最終処分場技術システム研究協会 弘末文紀、山田裕美、今井 淳  
 D 5-3 最終処分場の安定化調査のための埋立廃棄物採取装置の開発  
 (株)テクノアース 前田正男 千葉県北総県民センター 原 雄 早稲田大学 香村一夫  
 ポスター-1 D 5-4 都市ごみ焼却主灰中のエトリンガイトの定量および水和発熱  
 太平洋セメント(株) 今井敏夫、市村高央 (独)国立環境研究所 山田正人  
 D 5-5 埋立て処分された都市ごみ焼却主灰の固化メカニズム  
 太平洋セメント(株) 今井敏夫 (独)国立環境研究所 朝倉 宏、遠藤和人  
 D 5-6 焼却灰および溶融飛灰の埋立管理における散水の効果  
 (株)フジタ 矢島 聡、久保田洋、岡本太郎  
 ポスター-2 D 5-7 焼却残渣の土壌還元化への有機資材の適用方法に関する研究  
 福岡大学 渡辺義仁、立藤綾子、松藤康司  
 D 5-8 RP工法(埋立廃棄物静的圧縮減容化工法)による埋立廃棄物安定化促進実験(第2報)  
 ハザマ 宇良直子、則松 勇 福岡大学 樋口壮太郎  
 D 5-9 強制的好気性工法による廃棄物の早期安定化システムの研究開発  
 (有)グローバル環境システム研究所 元永優一 福岡大学 樋口壮太郎  
 前田建設工業(株) 中家祥介  
 ポスター-1 D 5-10 浸漬した石膏ボードから発生する硫化水素とその対策  
 福岡大学 武下俊宏、樋口壮太郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝  
 D 5-11 都市ごみ炭化物を活用した焼却灰浸出水の浄化効果  
 九州大学 岩永信太郎、大嶺 聖、落合英俊

**D 6 埋立地安定化・跡地利用(2) 【 11月20日(月) 第6会場 14:00-16:00 】**

- D 6-1 廃棄物最終処分場内の微生物群による親水性化学物質の生分解能力の評価  
 龍谷大学 石垣智基 (独)国立環境研究所 山田正人 岡山大学 小野芳朗

	D 6-2	一般廃棄物処分場における浸出水中のキノンバイオマーカーと微生物呼吸活性との関係 山梨大学 今井健太郎、藤田昌史、坂本 康
ホスター-2	D 6-3	酸素富化水・キレート剤等複合システムによる埋立地廃止促進技術の実用化研究(その1) 松尾設計研究グループ 海老原正明、押方利郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
	D 6-4	鉄廃棄物を利用した重金属除去に及ぼすフミン酸の影響 岡山大学 吉岡岳志、鈴木和将、小野芳朗
	D 6-5	透水性反応層を用いた処分場浸出水中の多環芳香族炭化水素類の除去機構 岡山大学 向井一洋、小瀬知洋、小野芳朗
	D 6-6	透水性反応層を施工した廃棄物埋め立て層内における有害有機物質の挙動 岡山大学 小瀬知洋、毛利紫乃、小野芳朗
ホスター-1	D 6-7	産業廃棄物埋立層の安定化に与える覆土の透水係数の影響 (独)国立環境研究所 朝倉 宏、遠藤和人、井上雄三
	D 6-8	ジオシンセティックスを用いた廃棄物埋立地キャッピングの雨水浸透制御効果の検討 九州大学 石橋俊将、島岡隆行、小宮哲平
ホスター-2	D 6-9	クローズドシステム処分場における廃棄物安定化指標の調査研究(その2) クローズドシステム処分場開発研究会 小日向隆、柳瀬龍二、石井一英
	D 6-10	管理型海面最終処分場の現状と課題 (独)国立環境研究所 井上雄三 (財)日本環境衛生センター 羽染 久 中央開発(株) 束原 純
	D 6-11	廃棄物海面最終処分場における安定化促進に関する研究 岡山大学 水岡 翔、安田憲二、田中 勝

**D 7 埋立地モニタリング 【 11月20日(月) 第6会場 16:15-18:00 】**

	D 7-1	海面管理型処分場の遺伝子工学的細菌叢解析 産業医科大学 谷口初美 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 (財)廃棄物研究財団 木川修二
ホスター-1	D 7-2	遺伝子工学的細菌叢解析手法を用いた強制的好気性工法の評価 産業医科大学 福田和正 (有)グローバル環境システム研究所 元永優一 産業医科大学 谷口初美
ホスター-2	D 7-3	埋立地内部水の移動現象における比抵抗探査の適用性評価 埼玉県環境科学国際センター 磯部友護 (独)国立環境研究所 遠藤和人 埼玉県環境科学国際センター 川寄幹生
ホスター-1	D 7-4	比抵抗トモグラフィによるテストセル内の一般廃棄物のモニタリング(その2) (独)国立環境研究所 遠藤和人 (株)ダイヤコンサルタント 杉本芳博、山田直之
	D 7-5	廃棄物層中における浸透水の挙動解明(1) 早稲田大学 香村一夫 千葉県環境研究センター 石渡康尊、依田彦太郎
ホスター-2	D 7-6	最終処分場の層内保有水及びガスモニタリング手法の検討 埼玉県環境科学国際センター 長森正尚、小野雄策 岡山大学 小野芳朗
	D 7-7	使用済み乾電池の埋立処分に関する研究(12)-埋立20年間に亘る水銀の埋立特性 福岡大学 柳瀬龍二、松藤康司
	D 7-8	北陸地方の気候が管理型産業廃棄物最終処分場の安定化に及ぼす影響 福井県衛生環境研究センター 田中宏和、田中博義、橋 治廣
ホスター-1	D 7-9	ミミズを用いた浸出水試料の環境影響評価手法 (独)国立環境研究所 阿部 誠、山田正人、井上雄三
ホスター-2	D 7-10	埋立地における植生と埋立廃棄物の安定化との関連性 九州大学 中山裕文、小宮哲平、島岡隆行
	D 7-11	最終処分場からのメタン放出量の2つの新しい現場計測手法 (独)国立環境研究所 山田正人 龍谷大学 石垣智基 (独)国立環境研究所 遠藤和人
	D 7-12	廃棄物最終処分場等のガスモニタリングへのオープンパス型計測器の適用可能性の検討 北海道大学 松尾晃治、古市 徹、谷川 昇
	D 7-13	クローズドシステム処分場における内部環境監視システムの適用と検証(第二報) 理研計器(株) 畔蒜祐治 (株)大林組 嶽本政宏、嶋谷 孝

**E 1 PCB・ダイオキシン処理/バイオレメディエーション 【 11月20日(月) 第7会場 10:00-12:00 】**

	E 1-1	酸化カルシウムによる PCB の化学処理 愛媛大学 田中崇太、高橋知史、本田克久
	E 1-2	鉄担持活性炭によるポリ塩化ビフェニルの分解 京都大学 孫 軼斐、高岡昌輝、武田信生
ホスター-1	E 1-3	BR PCB ELISA による絶縁油中 PCB の簡易測定

		日本エンバイロケミカルズ(株)	郷田泰弘	東電環境エンジニアリング(株)	富田潤一
				(独)国立環境研究所	滝上英孝
E 1-4		バイルシュタイン効果を用いる PCB スクリーニング試験方法の開発			
ポスター-2	E 1-5	ダイオキシン類および PCBs 汚染底質の間接熱脱着処理における底質粒子径の影響	西海絢乃	横浜国立大学	齋藤真理、堀 雅宏
E 1-6		Fenton 反応を用いた都市ごみ焼却飛灰中芳香族化合物の分解	大阪産業大学	谷口省吾、小泉 亮、尾崎博明	
E 1-7		Pseudallescheria boydii による 2,3,7,8-TCDD 分解の数学モデルの検討	京都大学	松山直樹、高岡昌輝、武田信生	
E 1-8		白色腐朽菌の産生酵素による難分解性有機物の分解について	北海道大学	久保島賢、古市 徹、石井一英	
E 1-9		白色腐朽担子菌による Polychlorinated biphenyls (PCB)分解経路の解明	大阪産業大学	高浪龍平、有坂大樹、尾崎博明	
E 1-10		分析機関で発生するダイオキシン類分析廃液の化学薬剤による処理	九州大学	亀井一郎、近藤隆一郎	
			愛媛大学	高橋知史、田中崇太、本田克久	

**E 2 有害性試験 【 11月20日(月) 第7会場 14:00-16:00 】**

ポスター-1	E 2-1	廃棄物リサイクル製品の分析に係る問題点について	三重県科学技術振興センター	吉村英基、加藤 進、広瀬和久	
ポスター-2	E 2-2	焼却灰の乾燥による六価クロム生成		四日市大学	高橋正昭
E 2-3		廃棄物に含まれる親水性化合物の溶出特性について - ビスフェノールAと1,4-ジオキサンの違い -	神奈川県環境科学センター	坂本広美 (独)国立環境研究所	肴倉宏史、大迫政浩
E 2-4		再生製品の乾湿繰り返し試験における六価クロム溶出特性	明星大学	宮脇健太郎 (独)国立環境研究所	大迫政浩、貴田晶子
E 2-5		欧州規格による廃棄物のキャラクタリゼーションについて(4)	(財)岡山県環境保全事業団	築谷淳志 工学院大学	中村和史 INSA Lyon 田野崎隆雄
E 2-6		再生製品を対象とした環境安全性評価試験の規格化研究(第1報)	(独)国立環境研究所	肴倉宏史、大迫政浩	明星大学 宮脇健太郎
E 2-7		アスベスト廃棄物溶融処理物の透過電子顕微鏡による試験方法の検討	(独)国立環境研究所	山本貴士、貴田晶子、野馬幸生	
E 2-8		ガス化炉灰溶出液の魚類影響評価における複数エンドポイント計測結果の適用	岡山大学	毛利紫乃 石崎産業(株)	河村麻子 岡山大学 小野芳朗
ポスター-1	E 2-9	溶融スラグのPbの日常モニタリングとしての新規カートリッジ式ボルタンメトリーによる簡易分析法	(独)国立環境研究所	貴田晶子 (株)環境研究センター	宇智田奈津代 積水化学工業(株) 岩佐航一郎
ポスター-2	E 2-10	ストリッピングボルタンメトリーによる飛灰抽出液中重金属の測定	ジールサイエンス(株)	古庄義明、小野壮登	
E 2-11		最終処分場早期安定化工法を行なった浸出水の毒性学的評価	福岡大学	趙 銀娥、為,田一雄、樋口壮太郎	
ポスター-1	E 2-12	建設資材として利用される再生製品の溶出挙動予測モデルの作成	北海道大学	東條安匡、松藤敏彦 (独)国立環境研究所	大迫政浩
ポスター-2	E 2-13	Free Ion Activity Model を用いた一般廃棄物焼却灰中の重金属の生物に対する有害性予測	東京工業高等専門学校	浦田真嗣 庄司 良	岡山大学 小野芳朗
ポスター-1	E 2-14	最終処分場層内における毒性の分布と覆土層による毒性の吸着	東京工業高等専門学校	上田剛将、庄司 良 (独)国立環境研究所	山田正人
E 2-15		ガス状物質の in vitro 簡易バイオアッセイの開発	東京大学	村井賢司、小森喜久夫、酒井康行	

**E 3 有害廃棄物処理・廃水処理 【 11月22日(水) 第7会場 9:30-11:30 】**

E 3-1		リンゴ搾汁残渣と柿渋液を用いたホタテ貝内臓廃棄物からの重金属の除去	佐賀大学	井上勝利、ギミレ ケダルナス、黄 凱	
ポスター-2	E 3-2	亜臨界水および超臨界水による有機塩素系殺虫剤の分解挙動	日本大学	関口博之、橋本隆史、田中裕之	
E 3-3		有機スズ化合物(TBT・TPT)で汚染された海水及び底質の無害化処理	愛媛大学	堂園美奈、高橋知史、本田克久	
E 3-4		シャフト炉式ガス化溶融炉による非飛散性アスベストの無害化処理	新日本製鐵(株)	梶山博久、高宮 健、長田守弘	

	E 3-5	建築用断熱材の引き剥がしに伴うフロン類の放散について 東京都環境科学研究所 辰市祐久、中浦久雄、上野広行
	E 3-6	PCP 廃農薬等の安全・確実な焼却分解技術の開発 横浜国立大学 米田和正 日曹金属化学(株) 藤原 豊 横浜国立大学 浦野紘平
ポスター1	E 3-7	硫酸カルシウムの熱分解特性について (株)クレハ環境 福田弘之、大岡幸裕、草野洋平
	E 3-8	欠番
	E 3-9	水熱鉱化法による水溶液中のヒ酸、亜ヒ酸の沈殿回収 名古屋大学 板倉 剛、笹井 亮、伊藤秀章
	E 3-10	水溶性物質を用いた6価セレンの還元 東北大学 亀田知人、石山優奈、吉岡敏明
	E 3-11	嫌気性グラニューール形成過程における汚泥の粒子径と機能の変化 創価大学 木野則子、松山 達、戸田龍樹

**E 4 不法投棄・土壌地下水汚染(1) 【 11月21日(火) 第7会場 9:30-11:00 】**

	E 4-1	不法投棄原状回復事業の鉛直遮水壁工事における腐植酸の影響について 鹿島建設(株) 田口浩己、伴野 茂、青山和史
	E 4-2	不法投棄廃棄物の性状と前処理方法について 鹿島建設(株) 伴野 茂、青山和史、堀 整
ポスター1	E 4-3	産業廃棄物の不法投棄現場のリスク低減策 (株)クボタ 寺尾 康 北海道大学 石井一英、古市 徹
	E 4-4	不法投棄現場修復計画への新しい撤去シミュレーションモデルの提案 北海道大学 武田朋子、古市 徹、石井一英
	E 4-5	不法投棄現場における嫌気性バイオレメディエーションのモデル化とシミュレーション 北海道大学 佐藤康行、古市 徹、石井一英
	E 4-6	不法投棄現場のベンゼン等芳香族化合物を対象とした好気性バイオレメディエーションの適用可能性の検討 北海道大学 池田 洋、古市 徹、石井一英
	E 4-7	不法投棄現場における埋立範囲特定のための簡易調査法の適用 福岡県保健環境研究所 高橋浩司 福岡県リサイクル総合研究センター 黒川陽一 福岡県保健環境研究所 土田大輔

**E 5 不法投棄・土壌地下水汚染(2) 【 11月21日(火) 第7会場 16:15-17:45 】**

	E 5-1	VOC 汚染土壌に対するリスクコミュニケーション事例 西武建設(株) 三村 卓、辻田陽一郎、鈴木 守
ポスター2	E 5-2	特殊鉄粉による揮発性有機塩素化合物の分解特性について 東ソー(株) 清水要樹、長井康行
	E 5-3	過酸化水素添加湿式酸化処理によるトリクロロエチレン吸着活性炭の再生 福岡大学 大川清和、武下俊宏、中野勝之
	E 5-4	揮発性有機化合物に対するジオコンポジットライナーの遮水性能評価 熊本大学 棕木俊文
	E 5-5	土壌に残留する有機塩素系除草剤の超音波抽出および分解 名古屋大学 藤田隆文、松田仁樹、小島義弘
	E 5-6	大阪市東淀ごみ焼却工場用地における土壌汚染対策事例 京都大学 嘉門雅史 (財)廃棄物研究財団 副島忠男 大阪市 竹中一純
ポスター1	E 5-7	土壌・地下水汚染診断・修復支援データベースシステムの活用に関する考察 (株)大林組 佐々木哲男、峠 和男 北海道大学 古市 徹
	E 5-8	家畜ふん尿による窒素汚染の河川・地下水経路の調査・解析 北海道大学 香阪絵里、古市 徹、石井一英
ポスター2	E 5-9	東南アジア向け地下水ヒ素簡易浄水実証試験 愛媛大学 山下正純、波爾宏明、本田克久

**F International Poster Session 【 Tuesday, November 21 1F EVENT HALL 11:10-12:40 】**

poster2	F 1-1	LCA and Scenario Analysis of Waste Disposal System of Beijing Yonghai Xue, Toru Matsumoto, Jian Zuo, The University of Kitakyushu
poster2	F 1-2	Survey Study on Attitudes of Householders to Obsolete Large Electronic Home Appliances in Beijing, China Xianbing Liu, Masaru Tanaka, Yasuhiro Matsui, Okayama University

- poster2 F 1-3 The Study on the Environmental Load Change of Waste Treatment by Comprehensive National Waste Management Plan Execution with LCA in Korea  
Sung Han Yoon, Young Lan Jung, Dong Hoon Lee, University of Seoul
- poster2 F 1-4 MANAGEMENT OF SOLID WASTE - IN MYSORE CITY  
Jagadeesha, Karoatake State Open University  
Suresha.K.V., JSS College for Women(autonomous) Srinivas.V., KSOU
- poster2 F 2-1 Recovery of Rare Metals in Fly Ash Generated from Ash Melting and Gasification/Melting of Municipal Solid Waste  
Chang-Hwan Jung, Masahiro Osako, National Institute for Environmental Studies
- poster2 F 2-2 Development of bio-fertilizers using Waste Chinese medicine and earthworm casting  
Wook-Sang Cho, Eun Young Lee, The University of Suwon
- poster2 F 2-3 The Synthesis of High Functional Material from Spent Alkaline Manganese Battery  
Tae-Hyun Kim, Shun-Myung Shin, Jeong-Soo Sohn, Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources
- poster2 F 2-4 Stable Dismantling of Spent Lithium Primary Batteries for Recycling  
Shun-Myung Shin, Jeong-Soo Sohn, Dong Hyo Yang, Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources
- poster2 F 2-5 Anaerobic digestion using hybrid reactor in low temperature  
Jeong-sun Park, Tae-kyu Eom, Kyungsung university Ki-hun Jang, Eco solution
- poster2 F 2-6 Comparison of Methane Generation of Municipal Solid Wastes in Large-scale Lysimeters Filled with Different Portion of Biodegradable Component  
Jeong-Hoon Han, Jeong-An Kwon, Dong-Hoon Lee, University of Seoul
- poster2 F 2-7 Comparison of efficiency depending on presence of food wastes washing in aerobic composting  
Chan-Ki Lee, Woon-Ji Park, Soo-Chul Han, Kangwon National University
- poster2 F 2-8 Study on the HCl Exhaust and Reduction Characteristics of Refuse-Derived Fuel(RDF)  
Nam-Sun Nho, Kwang-Ho Kim, Sang-Goo Jeon, Korea Institute of Energy Research
- poster2 F 2-9 Evaluation of microbial immobilization of nitrogen during composting by a quantitative analysis of DNA extraction from the compost  
Sung-hwan Kwon, Hankyong National University  
Hiroto Yoshida, Kiyohiro Nakasaki, Shizuoka University
- poster2 F 3-1 The simulation of RDF fluidized bed incinerator by the partial chemical equilibrium method  
Kazui Fukumoto, Yoshifumi Ogami, Yoshinobu Yoshihara, Ritumeikan University
- poster2 F 3-2 Estimation of breakthrough time of adsorbents in an incineration facility adsorber  
Kenichiro Inoue, Katsuya Kawamoto, National Institute for Environmental Studies
- poster2 F 3-3 A Study on Behavior of Mercury Speciation from Waste Combustion Facilities  
Yong-Chil Seo, Kyu-Shik Park, Jeong-Hun Kim, Yonsei University
- poster2 F 3-4 Distribution of Dioxins, Furans and Dioxin-like PCBs in Char and Slag from the Pyrolysis and Melting of ASR  
Hyun-Tae Joung, Yong-Chil Seo, Yonsei University  
Ki-Heon Kim, National Institute of Environmental Research
- poster2 F 3-5 Emission Characteristics of Municipal Solid Waste Resources in a Fluidize Bed Pyrolysis  
Jong-In Dong, Woo-Chan Lee, Won-Gu Hwang, University of Seoul
- poster2 F 3-6 A study on the Characteristics of Pyrolytic Products Collected from Sewage Sludge in a Fluidized Bed Reactor  
Min-Seop Eom, Nam-Chan Kim, Kyung-Seun Yoo, Kwangwoon University
- poster2 F 3-7 The Study of Bottom and Fly ash generated by the Melting system Incinerator using Electrolysis gas  
Soon Young Min, Jong Jin Park, Jin-Won Park, Yonsei University
- poster2 F 3-8 Renewable energy of organic wastes by carbonization  
Sung-Keun Bae, Ho-Soo Lee, Ju-Yong Lee, Changwon National University
- poster2 F 3-9 Characteristic Patterns of Polychlorinated dibenzo-p-dioxins(PCDDs) and dibenzofurans(PCDFs) from Municipal Waste Incinerators  
Jae-Yong Ryu, Daegu-Gyeongbuk Development Institute  
Seong-Ho Jang, Young-Sik Kim, Pusan National University
- poster2 F 4-1 Waste-to-Energy Development in Metro Manila, Philippines: The Case of Payatas Landfill Gas Recovery Project  
Kevin Roy Ballado Serrona, Jeong-Soo Yu, Tohoku University
- poster2 F 4-2 Leaching characteristics of PCDDs/DFs and co-PCBs from landfills containing municipal solid waste and incineration residues.  
Sang-Yee Ham, University of Seoul Yong-Jin Kim, Mokpo National Maritime University  
Dong-Hoon Lee, University of Seoul

- poster2 F 4-3 Characteristics of dissolved organic matter in leachate samples discharged from municipal solid waste(MSW) landfills which contained MSW incineration residues  
Dong-June Seo, University of Seoul Yong-Jim Kim, Mokpo National Maritime University  
Dong-Hoon Lee, University of Seoul
- poster2 F 4-4 Monitoring results of large-scale landfill test cells  
Han Sang Cho, Jae Young Kim, Seoul National University
- poster2 F 4-5 The Characteristic of residual soil with BMP(Biochemical Methane Potential) test in the illegal Waste Landfill  
Heon Tark, Jai-Young Lee, University of Seoul
- poster2 F 4-6 A study on ZVI(Zero Valent Iron) barrier and Bio-barrier in Leachate-Contaminated Groundwater  
Kyung-Hak Tak, Jai-Young Lee, University of Seoul Byung-Taek Oh, Hallym University
- poster2 F 4-7 Reverse mutation and cytotoxicity characteristics of leachates discharged from landfills containing municipal solid wastes and incineration residues  
Jong-Sam Lee, Yong-Jin Kim, Sang-Kuk Han, Mokpo National Maritime University
- poster2 F 4-8 Control of Contaminants by a Recycled Waste Steel Scrap  
Byung-Taek Oh, Hallym University Kui-Jae Lee, Chonbuk National University
- poster2 F 5-1 Effect of hydrothermal treatment on heavy metal extraction from MSWI fly ash  
Fu-shen Zhang, Research Center for Eco-Environmental Sciences, Chinese Academy of Sciences  
Hideaki Itoh, Nagoya University
- poster2 F 5-2 A challenge for waste management from small health care establishments in Bandung city, Indonesia  
Mochammad Chaerul, Masaru Tanaka, Ashok V. Shekdar, Okayama University
- poster2 F 5-3 Sediment and Water Contamination with Mercury Caused by Industrial Waste and Waste Water in Oued El Harrach, Alger  
Mitsuo Yoshida, Japan International Cooperation Agency (JICA)  
Laleg Abderhaman, Bachir Slimani, National Observatory of Environment and Sustainable Development(ONEDD)
- poster2 F 5-4 PCBs Decomposition Mechanism Utilizing SDMA and Cobalt Catalyst  
Jong-In Dong, Seong-Seok Seo, Jin-Gyun Eom, University of Seoul
- poster2 F 5-5 Performance of the Modified Bio-slurping in LNAPL Contaminated Soil  
Young-Jae Song, Jai-Young Lee, University of Seoul
- poster2 F 5-6 The Site investigation of the Pyrophyllite mine in Southwestern part of Island in Korea  
Won-Wook Lee, Jai-Young Lee, University of Seoul



会場案内図（北九州国際会議場、西日本総合展示場 新館 中展示場）

懇親会会場は、  
ステーションホテル小倉です。  
(p3 参照、JR 小倉駅内)

